

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010400020101	事務事業名	観光総務管理事務事業	担当部	商工観光部		
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	3	観光業の振興		グループ	観光PR		
基本事業名	1	観光客誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111		
				内線番号	2613		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市の観光推進施策にかかる経費。
 ・一般旅費及び消耗品
 ・公用車維持管理費

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア						
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を知ってもらふ。							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

特になし。

4. 事業費の推移

投入量	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			1,823	1,765	1,765
事業費	千円	0	0	1,823	1,765	1,765	

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
観光推進にかかる旅費及び公用車の維持管理にかかる経費を主に支出した。	会議等に出席することにより、関係団体等との情報共有や連携を図ることで、観光客誘客に繋がった。 また、公用車を車検整備することにより、安全で快適な運行に努めることができた。

事務事業コード	0107010400020101	事務事業名	観光総務管理事務事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	消耗品等については削減の余地もあるが、公用車の車検整備代等については必要最低限の経費であり削減できない。	
	<input type="checkbox"/> 削減できない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最低限の人員数であり削減できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	常にコスト意識を高く持ち、削減に努めていきたい。							
(3)平成28年度の方 向性・取組目標	常にコスト意識を高く持ち、削減に努めていきたい。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010403020301	事務事業名	特産品協会運営支援事業			担当部	商工観光部	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり				担当課	観光課	
施策名	02	商工業の振興				グループ	観光PRG	
基本事業名	03	霧島産物・技術を活かした製品(商品)開発の促進				電話番号	45-5111	
						内線番号	2612	
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 10 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07	商工費			根拠法令・条例等		
	項	01	商工費					
	目	04	観光費					
評価区分		標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市内に存在する2団体への運営費補助として補助金を交付していたが、平成21年度に二つの団体が合併して一つの団体となった。(市の活動):各特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書等の受付から補助金の交付など)を行い、特産品の開発、宣伝の推進を図る。(特産品協会の活動):地域の特産品の開発及び販売経路の拡充。市内事業者81団体が加入、地場産業の一翼を担うため、会員間の相互理解と連携を強め、霧島ブランドにふさわしい特産品のPRや、国内外への販路開拓、また、観光とリンクした特産品産業の振興を通じて、地域経済の活性化を促進するため、関係各所との連携を図り、各事業に取り組んでいる。

①物産展出店推進(県内外各種出展事業、イベント等出展事業)
 ②霧島ブランド化策定(きりしまブランド策定事業、地産地消推進事業、霧島オリジナル商品開発事業、特産品調査研究事業)
 ③広報拡大(PR広報渉外事業、会員拡大の推進) ④その他 各実行委員会への参加

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 特産品協会が開発した特産品の数(延べ)	個	2	5	6	5	5
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 特産品協会会員	会員数	人	83	81	84	83	83
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 新たな特産品を開発させる	開発された特産品の数	個	2	5	6	6	6
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島産物、技術を活かした製品(商品)が開発される	6次産業化に認定された件数	個	5	5	7	7	8
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

特に無し。

4. 事業費の推移

事業費	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,154	1,154	1,154	1,154	1,154
事業費	千円	1,154	1,154	1,154	1,154	1,154
投入量						

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
特産品協会会員 83人 開発された特産品の数 6個	事務局である、きりしまミックスが中心となり、地域の特産品の開発(あひる隊長レアチーズケーキ)及び販売経路の拡充(貸し店舗コンサルタントに特産品を紹介)と霧島ブランドの確立、会員数の増加を図った。 会員がそれぞれ、競争心を持ちながら、霧島ブランドの底上げをしたり、品質保持に努めてもらった。また、協会を通じて、各イベントへも積極的に参加してもらった。

事務事業コード	0107010403020301	事務事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	特産品協会へ活動資金を交付することにより、新たな特産品の開発や特産品をPRするための特産展等への参加ができ、霧島ブランドの競争力を強化することができ、意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、恵まれた自然線環境や地域文化に根ざした多くの特産品について、ブランド化を推進する必要があるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内特産品協会が連携し、共同開発することで、新たな特産品の数が増える余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	活動資金がないと、協会が解散することになる恐れがあり、新たな特産品の開発やPR活動ができなくなり、霧島市ブランド力が落ちることになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	自主財源が少なく、これ以上の削減は特産品協会の運営に支障をきたすため削減の余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市は補助金交付事務のみであり、人件費の削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	特産品協会へ補助金を交付することで、霧島ブランドの競争力が高まれば、関連事業者への経済効果も大きく、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	事務局であるきりしまミクスが中心となり、地域の特産品の開発(ゆるキャラ等を活用を含む)及び販売経路の拡充と霧島ブランドの確立、会員数の増加を図る。引き続き、県内外の物産展等に観光PRと一緒に、特産品の販売・PRの強化を図る。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	事務局であるきりしまミクスが中心となり、地域の特産品の開発(ゆるキャラ等を活用を含む)及び販売経路の拡充と霧島ブランドの確立、会員数の増加を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	

事務事業 コード	0107010403020301	事務 事業名	特産品協会運営支援事業	担当部	工商観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	1,154	1,154	1,154
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		1,154	1,154	1,154
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,154	1,154	1,154
計		1,154	1,154	1,154
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	1,154
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	1,154

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030101	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRG		
施策名	03	観光業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		内線番号	2612		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌・新聞及びホームページへの霧島市の観光情報の掲載など、様々なメディアを利用し、積極的な情報発信を行っている。
 ※平成26年度の掲載媒体
 <旅行情報誌>
 ● 朝日新聞朝刊鹿児島・宮崎版…61,000部 ● 月刊LEEP…38,000部 ● 温泉博士…920,000部
 ● 読売新聞秋の九州観光特集…890,000部 ● るるぶFREE鹿児島…80,000部 ● 旬刊旅行新聞…32,000部
 ● 読売新聞鹿児島版坂本龍馬特集…32,000部 ● 日本観光新聞新年特集号…50,000部 ● アバンティ…145,000部
 ● じゃらん…147,000部 ● 観光経済新聞…59,000部 ● 南日本新聞ていーたいむ…400,000部

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 掲載回数	回	12	14	15	16	16
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 広告を掲載した旅行雑誌、新聞等の読者	掲載媒体販売部数	万部	268	331	285	350	350
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市の情報を得る。	広告を見た人の数(掲載媒体発行部数)	万部	268	331	285	350	355
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れる観光客が増加する。	国内からの宿泊観光客数	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和50年代に合併前の各市町村を情報発信するために開始された。日本経済の長引く不況により国内の旅行客は年々減少している。そのような中で、より訴求力のあるタイミングでどの媒体を用いて広告を掲出すべきか十分に情勢を見極めながら打っていく必要がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	815	900	2,900	900
		事業費	千円	815	900	2,900	900
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<旅行情報誌> ● 温泉博士…920,000部 ● 読売新聞秋の九州観光特集…890,000部 ● 南日本新聞ていーたいむ…400,000部 ● じゃらん…147,000部 ● アバンティ…145,000部 ● るるぶFREE鹿児島…80,000部 ● 朝日新聞朝刊鹿児島・宮崎版…61,000部 ● 観光経済新聞…59,000部 ● 日本観光新聞新年特集号…50,000部	各種新聞や旅行情報誌等に掲載することで、霧島市の認知度向上に貢献した。

事務事業コード	0107010403030101	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	広告を掲載した旅行雑誌・新聞等の読者は、霧島市の情報を得ることで、霧島市を訪れることにつながるので、意図に結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光情報を発信することは、市の重要な役割であり妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	観光客を誘致する上で、広く情報を提供する手段として最も重要な事業であるが、部数発行や広報媒体の見直しを行う事で、より効果的な宣伝効果が期待できる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光を計画している方は、ホームページなどによる情報手段だけでなく、雑誌広告により一定の地域以外も含めた形で計画をたてることもあり、この事業がなくなると、霧島の観光情報を発信する機会が減少し、認知度が低下する恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	広告掲載数量(頁又は質等)を少なくすることで、事業費を削減することはできるが、情報発信の機会が減る恐れがあることから、これ以上の削減は成果を大きく低下させる。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の事務としては契約、支払、資料提供、取材協力等、最低限必要なものであり、削減できない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人に発行している新聞・雑誌であり、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	これまで掲載したエリアやターゲット地区を含め、部数発行や広報媒体の見直しを行うことで、より効果的な宣伝効果が期待できるように取り組む。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	現状の観光動向を注視し、結果の検証と効果を見極めながら、取組んでいく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030102	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

新幹線やJRを利用し鹿児島を訪れた観光客に対して本市への誘致を図るために、広告看板を設置する事業。昭和50年代に単人駅前及び単人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置している。
また、平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島中央駅に電照看板を設置している。

※電照看板とは・・・カラーフィルムに裏から照明をあてて広告するもの

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 設置枚数	枚	4	4	4	4	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 駅利用者(鹿児島中央駅)	新幹線利用客数	万人	399	402	確認中	402	402
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を知ることができる	看板を見た人(九州新幹線利用客数)	万人	399	402	確認中	402	402
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 国内からの宿泊観光客数が増加する	霧島市観光統計	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,017,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和50年代に単人駅、日当山駅を利用する旅行者に単人地区を案内するために設置された。平成16年に九州新幹線が一部開業し、平成23年3月12日に全線開業した。
鹿児島中央駅に設置している霧島市の空撮を使った電照看板を見て霧島市に移住を決めた方もいて好評である。議会などからの意見はなし。

4. 事業費の推移

単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)		
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,719	1,715	2,173	1,760	1,760
	事業費	千円	1,719	1,715	2,173	1,760	1,760

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
人の多く集まる駅や交通量の多い道路に、霧島市の観光案内板を設置することで行き先の選択肢の一つに霧島市をいれてもらえるよう看板設置業務を行った。 鹿児島中央駅電照看板広告料 1,270千円 単人駅電照看板広告料 133千円 日当山駅看板広告料 67千円	鹿児島中央駅の看板については霧島市の空撮を使用し、海と山を抱えるダイナミックな霧島市をアピールし、より多くの乗客等に周知することで多くの方に霧島市を知ってもらえた。

事務事業コード	0107010403030102	事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	駅利用者が霧島市を知ることができる場を提供することが、霧島市を観光地として認知してもらえることに繋がっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の観光地として認識度を高めるため観光情報を発信するものなので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	毎年契約前に案内板の見直しを行っており必要に応じて情報や写真の更新などを通して新しい霧島市の情報を案内できるようにしている。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	鹿児島中央駅に設置してあるので、この事業をなくすと、鹿児島中心部の駅から霧島を広く知ってもらう手段が無くなり、新たな観光客の開拓ができなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	より多くの駅利用者に霧島を認知してもらうために削減することはできない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は継続の看板設置については契約及び支払事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く誰でも知ることができる事業であるので不公平ではない。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	継続して観光案内板・電照看板設置事業を継続していく。また、限られたスペースで霧島市のPRを効果的に行うため内容を常に確認し、新しい観光施設や情報の更新などの漏れがないようにしていく。 市の観光施設においては外国語表記の看板が少ないため、多言語表示の看板を設置することで霧島市を訪れた外国人への情報提供を行う。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	限られたスペースで霧島市のPRを効果的に行うため内容を常に確認し、新しい観光施設や情報の更新などの漏れがないようにしていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0107010403030102	事務 事業名	観光案内板・電照看板設置事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	415	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料	415	0	
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	1,571	1,572	1,572
	通信運搬費			
	広告料	1,571	1,572	1,572
	手数料			
	保険料			
13	委託料	0		
14	使用料及び賃借料	187	188	188
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		2,173	1,760	1,760
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金		0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源		2,173	1,760	1,760
計		2,173	1,760	1,760
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	2,178
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	2,178

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030103	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光G		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本市へ観光客を誘致することを目的に、各種観光宣伝を実施する。
 (主な活動内容)
 ・効果的なイベント等への参加、マスコミ等表敬訪問の実施
 ・本市観光の魅力を伝えるための観光パンフレットやポスターの製作、発送
 (主な活動場所)
 首都圏、関西圏、東海地方、中国地方、北部九州地区
 【平成26年度宣伝実施実績】
 関西かごしまファンデー(大阪)、東京おもちゃショー(東京)、JR「大分vs鹿児島」キャラバン(福岡・広島・大阪)、大阪市古屋新年互礼会(名古屋、大阪)、小倉井筒屋観光物産展(北九州)、かごしま焼酎を楽しむ会(福岡)、アバンティ女子旅エクスポ(福岡)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 実施回数	回	27	23	26	26	26
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 国民	日本の人口	千人	127,515	127,298	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることができる。	宣伝日数(延べ)	日	87	40	55	60	65
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

我が国は、本格的な人口減少、超高齢化社会の到来など、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えており、国内旅行市場においても市場の成熟化が進んでいる。
 また高速交通網の発達や情報通信技術の進展は、移動時間の短縮や、多くの情報を容易に手に入れることを可能し、観光客のニーズを更に多様化している。
 社会環境の変化、多様な観光スタイルへの的確な対応と時期を捉えた施策の展開が求められている。

なお、霧島市への観光を計画されている方などに観光パンフレットを送付し、霧島市への来訪のお手伝い、サービスを行った。
 平成26年度 観光パンフレット等発送実績 383件

4. 事業費の推移

単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,180	9,680	3,617	8,853
	事業費	千円	2,180	9,680	3,617	8,853
投入量						

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成26年度においては、メディア等への露出を伴いターゲットを明確に絞ったイベントへの参加を実施した。また、旅行会社やトレッキング専門店などターゲットを絞ったセールス(売込み)も実施した。 また、本市が加盟している広域団体である環霧島会議が主催する周遊列車ツアーの運行対応やなつ星やおもてなしをテーマとしたJR主催のシンポジウムへ参加した。 なお、霧島市への観光を計画されている方などに観光パンフレットを送付し、霧島市への来訪のお手伝い、サービスを行った。 平成26年度 観光パンフレット等発送実績 383件	霧島温泉大使アヒル隊長を活用したPR展開により、霧島市をより身近に訴求することが出来た。また、ターゲットを明確にしたイベントへの参加を行ったことで、霧島市のもつ魅力的なイメージを訴えることができ、メディア等への露出と併せ、魅力的な観光地としての「霧島市」の知名度向上やイメージがアップに繋がった。 また、旅行会社へのセールス活動やトレッキング専門店へのセールス活動の展開により、市場ニーズの把握や新しい観光素材や切り口(見せ方)に気付くことができ、今後のPR活動の幅を広げることが出来た。

事務事業コード	0107010403030103	事務事業名	観光宣伝事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国民が、各種イベント・観光宣伝を通じて霧島市を知ることができ、国内からの宿泊観光客数の増加に繋がる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるので妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	観光宣伝をすることによって霧島市の知名度が向上し、イメージアップにつながっているが、多様な観光スタイルへの的確な対応と時期を捉えた施策を展開すれば、成果向上の余地は大いにある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光宣伝事業は、霧島市の知名度向上・イメージアップを図るために重要であり、廃止すると霧島市を観光地として認知してもらう機会がなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 観光かごしま大キャンペーン推進協議会
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	よりメディア露出を絡めた観光プロモーションを実施出来れば事業効果を高めることはできるが、費用は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	各種業務において、各職員自席のPC端末でインターネットに接続された状態で業務を行うことが出来れば、無駄な人件費を削減することが出来る。そのことは同時に、事業効果の向上、お客様サービスの向上に繋がる。※現状1台のインターネットPCでは、移動時間、待ち時間、データ持運び時間などロスが非常に多い。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が観光宣伝を行い、霧島市の知名度を上げることは、霧島市を訪れる観光客増加に繋がり、全市的に経済効果が高まるため公平公正になっている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善・連携 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成27年度は、県下全域で国民文化祭が開催され、霧島市においてもイベントが開催されるため、鹿児島県に訪れたお客様に霧島市に訪訪頂く仕掛け・情報発信を行う。 観光イベントへの参加については、メディア等への露出を伴う費用対効果の高いイベントへ参加を推進し、また、旅行エージェント、雑誌社、トレッキングショップなど、ターゲットを絞ったセールス活動の展開を行う。							
(3)平成28年度の方方向性・取組目標	引き続き、多様な観光スタイルへの的確な対応と、時期を捉えた事業展開を行う。 また、平成28年4月は、坂本龍馬来訪150年の年にあたり、また、その2年後は明治維新150年を迎えることから、鹿児島県、周辺自治体と連携しながらテーマ性やストーリー性のある観光宣伝活動を展開する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業コード 0107010403030103	事務事業名 観光宣伝事業	担当部 商工観光部
		担当課 観光課

9. コストの推移

(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1 報酬			
2 給料			
3 職員手当等			
4 共済費			
5 災害補償費			
7 賃金			
8 報償費	763	800	800
9 旅費	481	557	557
10 交際費			
11 需用費	1,735	5,781	5,781
消耗品費	56	57	57
燃料費			
食糧費			
印刷製本費	1,679	5,724	5,724
光熱水費			
修繕料			
賄材料費			
飼料費			
医薬材料費			
12 役務費	153	276	276
通信運搬費	148	263	263
広告料			
手数料	5	13	13
保険料			
13 委託料		1,000	1,000
14 使用料及び賃借料			
15 工事請負費			
16 原材料費			
17 公有財産購入費			
18 備品購入費	56	0	
19 負担金補助及び交付金	429	439	439
20 扶助費			
21 貸付金			
22 補償補填及び賠償金			
23 償還金利息及び割引料			
24 投資及び出資金			
25 積立金			
26 寄附金			
27 公課費			
28 繰出金			
計	3,617	8,853	8,853
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
その他	0	0	
一般財源	3,617	8,853	8,853
計	3,617	8,853	8,853
補助率	国 県		
補助基本額			

平成26年度補正・流用状況

当初予算	3,788
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	3,788

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030104	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付し、同協議会が行う霧島ふるさと大使の選考・活動を支援している。
 (市の活動) 同協会に補助金を交付し、同協議会の事務局を担う。
 (霧島市PRスタッフ運営協議会の活動) 霧島ふるさと大使選考会の開催、霧島ふるさと大使の活動支援
 ※ 霧島市PRスタッフ運営協議会とは、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝において、霧島市をPRし観光客を誘致することを目的に選定する霧島ふるさと大使(PRスタッフ)の選考会の開催や活動を支援する団体で、霧島市・霧島商工会議所・観光協会が組織される。
 (霧島ふるさと大使募集の概要) ○ 霧島ふるさと大使 3名募集
 ○ 任務 7月から1年間、霧島市をPRするための観光宣伝や物産展、霧島市の主催・後援・協賛する行事等に参加
 ○ 応募資格 ① 霧島市に居住か職場がある方で、18歳以上(高校生を除く)の健康でやる気のある方なら、老若男女・未婚既婚を問わない。② 月平均3、4日程度の業務・出張に従事できる方。③ 自薦・他薦を問わない。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 出務回数	回	37	34	26	40	40
イ PRスタッフ選考会応募者数	人	11	19	15	15	15
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	127,475	127,283	127,259	129,360	129,360
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。	出務人数(延べ)	人	61	76	51	85	85
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	国内からの宿泊観光客数	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和50年代、南九州における新婚旅行ブームが下火になり、観光客の減少に歯止めをかける手段としてミスコンテストを行い、ミスによる観光PRを全国各地で行うことで、観光客の誘致を図ることを目的に開始された。平成19年度に応募対象に男性も応募できるようになり、PRスタッフとして1名選出された。
 老若男女や未婚・既婚をイメージする名称を廃止し、誰でもなれる新たな名称に変更するように求められていたため、平成20年度、公募により市PRスタッフ「霧島ふるさと大使」に名称を変更した。意見等は特になし。

4. 事業費の推移

事業費	投入量	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
事業費		千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

年間を通して26回、県内外で各種イベントに参加し、ステージでの観光宣伝やテレビ・ラジオ・新聞等へのメディア・マスコミ出演を行った。また、そのうち3回は本市でキャンプを行うプロチームの歓迎セレモニーで花束贈呈のおもてなし活動に従事し、本市誘客拡大に繋がった。

第7代の選考会には14名の応募があり、霧島ふるさと大使に対する認知度とステータスが高まっている結果が得られた。

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030105	事務事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111		
				内線番号	2613		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 21 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

(公社)霧島市観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。
 (市の活動)同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。
 (同協会の活動)観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、チラシの作成・配布、観光イベントの実施
 ※(公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会合併しH21年4月に発足した
 ※平成25年4月1日から公益社団法人に移行
 1. 観光客の誘致促進事業
 観光イベントの開催事業:霧島さんろくグラウンドゴルフ大会
 国内からの観光誘客事業:雲仙市姉妹盟約締結記念事業、地区別温泉地パンフレット作成助成、雑誌メディアを活用した情報提供事業、ホームページ等による観光情報の発信事業、コンベンション誘致事業、自転車天国霧島事業、インバウンド対策事業等

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	数	252	246	246	250	250
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進する。	観光宣伝をした回数	回	5	7	7	9	9
イ 市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進する。	イベントを実施した回数	回	15	20	21	22	22
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市が合併し、観光振興を一体となって推進するために、(公社)霧島市観光協会は、(社)大霧島観光協会・国分市観光協会・隼人町観光協会、国立公園霧島観光協会が合併しH21年4月に発足した。
 観光客や観光関係者の情報提供として情報の一元化とホームページの充実などが必要である。各種イベント等について霧島市観光協会が事務局を担うことが望ましい。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	17,296	16,950	16,950	25,290
		事業費	千円	17,296	16,950	16,950	25,290
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 観光客の誘致促進事業 (上記、事務事業の概要に記載) 2. 観光客の受入整備事業 霧島ジオパークの推進事業、観光案内・紹介事業、観光事業功労者等表彰事業、観光スポーツへの周遊・受入促進事業、諸団体等との連絡及び提携事業、霧島温泉地区雑用水管理運営事業 龍馬ハネムーンウォーク、天孫降臨霧島事務局	情報提供・意見交換を密にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動やインターネットなどを活用した新たな情報発信に努めた。 また、観光協会会員とも情報提供・意見交換を密にし、一体となった観光宣伝などを行った。 自主事業の費用対効果を分析し、スクラップアンドビルドに取り組んだことにより、効率的な観光宣伝等を行うことができた。

事務事業コード	0107010403030105	事務事業名	市観光協会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光業者・従事者が、市観光協会の活動運営を支援することにより観光誘客のための事業を推進することで、霧島市を訪れてもらうことにより宿泊観光客を増やすことを意図するため結びつく。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は観光協会と共に霧島市の観光に関するリアルタイムな情報発信と県内外からの観光客誘致活動を行わなければならないため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	観光宣伝やイベントの実施と共に、ホームページなどインターネットを活用した情報提供により、よりリアルタイムで広範囲にPRする方策を検討する必要がある。 個別に補助金申請を行っているイベント等の事業を一括して補助することで、柔軟性の高い事業運営が行える。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市の観光案内や観光客誘致を担っており、補助金の廃止によって事業規模を縮小すると、観光客への情報提供や受入体制が大幅に悪化することになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 天孫降臨霧島祭・ハネムーンウォーク・ハンギリ出し・ほぜ祭り 各種イベントの主体を観光協会とすることで、補助金事務の軽減や事業間の調整、裁量権の向上につなげることが出来る。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	市からの補助だけでなく、新規事業など国や県などの補助事業活用や参加者からの収入などで、自主財源を確保する必要がある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することが出来る。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光協会は霧島市全域を対象とした観光案内や情報発信を行う団体であり補助金を交付することは公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善・統合 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○				
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	現在行っている観光客の誘致促進事業や観光客の受入整備事業を見直し、また、新たな事業展開を図る。昨年に引き続き情報提供・意見交換を密にし、市と観光協会と一体となった誘致宣伝活動やインターネットなどを活用した新たな情報発信に努める必要がある。また、HPの一本化に向け、引き続き調整を進めていく。自主事業の費用対効果を分析し、スクラップアンドビルドに取り組む必要。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	観光協会合併後、続けている事業の見直し、また、その時代にあった新たな事業展開を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030106	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本事業は平成20年度から開始し、市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見を頂いている。また、本市の観光の魅力や特産品等の紹介、宣伝など、本市のイメージアップに繋がる活動及び企業誘致や定住促進など、市勢発展に寄与していただき、また本市の更なる宣伝効果につなげることを目的としている。なお、委嘱は各関係課からの推薦に基づき行い、その後の事務的な業務は、推薦があった関係課と観光課が連携して行っている。

【おじゃんせ霧島大使委嘱者】辛島美登里・井上一樹・白鵬 翔・堤 剛・陸奥 一博・猫ひろし・生島ヒロシ 計7名
 【霧島市ふるさと大使】細山田明義(首都圏霧島市ふるさと会最高顧問)、原口悟郎(首都圏霧島市ふるさと会会長)、末満利昭(首都圏霧島市ふるさと会会長代行)、梶島義則(首都圏霧島市ふるさと会幹事長)、宮村憲一(元トヨタ車体研究所エグゼクティブアドバイザー) 計5名
 【観光宣伝】それぞれの活動の場で霧島市をPRしてもらう。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 委嘱者数(延べ)	人	10	12	12	12	12
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 国民	人口(4/1現在)	億人	1	1	1	1	1
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市の情報を得ることができる。	名刺を受取った人数	人	1,600	2,400	2,400	2,400	2,400
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 国内からの宿泊観光客数	霧島市観光統計	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

本市にゆかりや関係がある著名人等に対し、霧島大使を委嘱することで、その方の広い活動範囲や内容を活用した、本市の知名度向上やイメージアップ、魅力のPRにつなげるため、平成20年度から実施している。現在12名の幅広いジャンルの方が大使として任命されている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	207	228	212	166	257
	事業費	千円	207	228	212	166	257

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
「霧島ふるさと大使」として活動する際に使用して頂くための名刺を各200枚制作した。また、本市特産品PRに繋がると判断した本市訪問時に、3回特産品の贈呈を行った。	12名の大使については、それぞれの分野で霧島市をPRしていただき、本市発展に寄与していただいた。

事務事業コード	0107010403030106	事務事業名	霧島大使運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国民が霧島市の情報を得ることができ、国内からの宿泊観光客数の増加に繋がる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市に観光客を誘致するための活動をする必要があり、妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	霧島大使が、各分野で活動する際に霧島大使の名刺を活用頂くことで、様々な分野での本市のPRが可能となり、市の更なる知名度向上に繋がる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	著名人によるPRを行うための有効な手段が失われる事になり、影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	名刺と盾のみを授与しており、他の経費が発生しないため削減余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	本課の事務は、候補者推薦があった場合の事務手続きや大使訪問時の調整、運営等である。理想的には、霧島大使の活用は観光面に絞らず、推薦した関係課等を中心に積極的に業務で活用することで、事業効果も高まり、本課の人件費も削減できると考える。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島のイメージアップにつながる活動であり、公平・公正といえる。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	本市の発展につなげるため、推薦した関係課を中心に霧島大使の活躍を促し、積極的に対しを活用する体制づくりを行い、霧島市と霧島大使が双方win-winとなる関係を構築する道筋をつける。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	霧島大使と関係課が連携し、各事業において霧島大使が活躍し、霧島市を全国に発信する事業展開を目指す、							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030109	事務事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

本事業は、霧島市内の観光関係組織で構成され、本市への誘客促進と地域経済の発展を目的に活動を展開している「いざ霧島キャンペーン実行委員会」への事業補助金を支出している。
 同実行委員会は、事務局を市観光協会と市観光課で担い、平成22年度の口蹄疫からの復興を目的に設立され、これまで新燃岳噴火に伴う風評被害対策や九州新幹線全線開業効果の拡大事業などを大きな事業に掲げ実施してきた。中でも、10月運行された「ななつ星」に係る歓迎事業や指宿との広域連携、各駅活性化団体との連携等を行い、本市における観光の旗振り役として大きく貢献している。
 また、本市を来訪する観光客の満足度を高め、再訪に繋げるために、観光業従事者の「おもてなし」意識の向上にも繋げる事業を実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	
ア	観光業者・従事者	観光協会に加入している事業所数	数	252	246	246	250	250
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	
ア	経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,800,000	7,800,000
イ	経済的に豊かにする	観光客数(宿泊+日帰り)×観光客1人当りの消費額	百万円	52,021	56,973	57,033	56,990	56,990
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	
ア	霧島市を訪れてもらう	国内からの宿泊観光客数	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫からの復興を目的に「いざ霧島100万人キャンペーン実行委員会」への事業補助金として開始された。開始時期は口蹄疫からの復興や新燃岳の風評被害対策など、災害復興を目的に事業展開していたが、平成23年度～平成24年度は九州新幹線開業の効果拡大事業等を実施し、本市への誘客促進と地域経済の活性化を目的に事業展開している。
 平成25・26年度は、JR九州豪華寝台列車「ななつ星in九州」の運行にあわせ、地域と連携しおもてなしに努めた。

4. 事業費の推移

		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	6,500	6,059	6,500	6,000
		事業費	千円	6,500	6,059	6,500	6,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>指宿市、霧島市への誘客を促進するために、広域連携による効果的な誘客キャンペーンを展開し、両地区観光客の増加を目的に、指宿と霧島が対決するという話題性や明確な切り口により、県内外のマスコミ、メディア等による本県露出向上が図れ、県内の観光客が増加し、県内各地の経済活性化に繋がった。</p> <p>活性化団体活動支援事業は、昨年度に引き続き、各活性化団体の連携により、肥薩線沿いを花いっぱい彩り、また、トイレ清掃や高校生によるおもてなしで観光客を迎える体制を整えた。</p> <p>そのほかJR九州ダイヤアップ事業、10月から運行された「ななつ星」に係るクルーズトレイン 歓迎事業、霧島湯めぐり旅マップの増刷を行った。</p>	<p>平成25年度に引き続き、指宿と霧島が連携し素材説明会への参加、小倉駅でのキャンペーンなど鹿児島県内、九州、関西等のマスコミ、メディア等による本県露出向上が図れ、鹿児島県内の観光客が増加し、県内各地の経済活性化に繋がった。</p> <p>各活性化団体の連携により、おもてなしで観光客を迎える体制を整えた。</p>

事務事業コード	0107010403030109	事務事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光業者・従事者が霧島市をPRすることで経済的に豊かにし、霧島市を訪れてもらう宿泊観光客を増やすことで、事業の意図に結びつく。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		いざ霧島キャンペーン実行委員会は官民一体となった組織であり、本事業の成果は、市内全体の観光業者・従業者を豊かにするものであるから妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	同実行委員会への補助金を廃止した場合、本市において官民一体となった組織がなくなり、効果的な事業展開が実施できなくなる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	事務局運営を市観光協会と共同で行っているが、協会との事業負担を同じ割合で明確に行い、事業実施においては、連携しながら、互いが補完する体制を確立することで業務時間を削減できる。	
	D 公平性		⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	例年行っている事業(誘致促進事業、受入体制支援事業)と合わせ新規事業への取組みが必要である。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	例年行っている事業(誘致促進事業、受入体制支援事業)と合わせ新規事業への取組み、国内だけではなく海外への事業展開も視野に入れる必要がある。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0107010403030109	事務 事業名	観光客誘客事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金	0		
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	6,500	6,000	6,000
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
	計	6,500	6,000	6,000
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金		0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	6,500	6,000	6,000	
	計	6,500	6,000	6,000
補助率	国 県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	6,500
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	6,500

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
	合計	0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030201	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部	担当課	観光課
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光地づくりG	電話番号	45-5111
施策名	03	観光業の振興		内線番号	2614		
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 8 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
予算科目	会計	一般会計		根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則・霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱		
	款	07 商工費					
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。
 (市の活動)同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。
 (実行委員会の活動)団体誘致のためのセールス活動(5月、10月、12月)、歓迎セレモニーの実施(年間)、誘致団体との連絡調整(年間)。
 ※霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。
 【平成26年度招致実績】
 サンプルッチェ広島、京都サンガF.C.、ロアッソ熊本、FCソウル、太陽誘電、かずさマジック、ホンダエンジニアリングソフトボール部等 計14団体

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 誘致活動回数	回	5	3	3	3	3
イ キャンプをPRした日数	日	27	25	25	25	25
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア プロ・アマチュアのスポーツ団体	現在誘致活動を行っている団体数	団体	12	14	15	15	15
イ 旅行エージェント	PRを行ったエージェント数	社	3	4	4	4	4
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市でキャンプを行ってもらう	キャンプを行った団体(全体)	団体	12	14	14	17	17
イ 情報提供をしてもらう	キャンプを行った団体(新規)	団体	6	8	4	10	10
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 観光に活用できる資源が開発される。	開発された観光資源の数	本	29	35	37	40	45
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成5年度に発足したリーグを誘致するため平成8年度からリーグチームをはじめとするプロ・アマチュアのスポーツ団体を誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した。本市でキャンプを行うスポーツ団体はプロ・アマともに年々増加し続けている。ただし、施設は限りがあり希望通りの日程がとれず本市でのキャンプを断念する団体もある。議会ならびに誘致団体からはスポーツ施設のより一層の充実が望まれている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,700	2,200	2,200	2,200	2,200
	事業費	千円	1,700	2,200	2,200	2,200	2,200

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
県主催の団体誘致セミナー(福岡、韓国)の参加などにより、団体の誘致に成功した。 【継続団体】サンプルッチェ広島、京都サンガF.C.、FCソウル、ホンダエンジニアリングソフトボール部、太陽誘電女子ソフトボール部、新日鐵住金かずさマジック、NTTコミュニケーションズラグビー部、西南学院大学野球部(計8団体) 【新規団体】ロアッソ熊本、姫路獨協大学、京都産業大学サッカー部、亜細亜大学サッカー部、日本経済大学野球部、旭川大学野球部(計6団体)	平成26年度は新規団体の誘致はさほど増えなかったものの、継続して本市にキャンプに来る団体数増加に成功し、キャンプ誘致に伴う観光客誘客に寄与した。

事務事業コード	0107010403030201	事務事業名	スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	プロ・アマチュアのスポーツ団体に霧島市でキャンプを行ってもらうことや旅行エージェントに霧島市についての情報提供を各種団体に対してしてもらうことで間接的に観光に活用できる資源が開発されている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の目的のひとつに市の施設の有効活用も含まれており、市が事業をすることが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市HPやスポーツ専門誌への霧島市の情報掲載、誘致セールスの取組などを他の事業と連携し、従来とは異なる地区、年齢層への周知の取り組みなど向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	同実行委員会が行っている誘致・歓迎にあたって連絡・調整・実施に関する各種事務を廃止すれば、スポーツ団体の誘致ができなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	平成25年度から宿泊施設に対して一定の負担金を求め事業費に充てており、県内他の市町村に比べて事業費が潤沢にあるとはいえないが、事業の運営に支障をきたすことがないように事業費の削減を図る。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の職員数で事務を行っており削減余地はない。また、他の団体に事業を移管した場合は委託料として人件費に当たる相応の金額を支出しなくてはならず事業委託の選択肢は有効でない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	一部のスポーツ団体や旅行エージェントに限定した事業ではないため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	受入体制の充実を図り来てくださる団体にとっての満足度を高めることとともに、屋内競技などの新規競技団体の誘致などを目標に効率的な誘致セールスを図る。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	誘致団体にとってよいキャンプまたは大会となるよう受入体制の充実をはかり、次年度以降も継続していただくことを目標に事業を実施する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030202	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光地づくりG		
施策名	03	観光業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発		内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

国土緑化推進機構が提唱する「森林セラピープロジェクト」は、森が持つ癒し効果を科学的に解明し、森で過ごすことによって日頃のストレスを解消し、健康な日常生活を送ることが目的である。全国で霧島市を含む57の団体が森林セラピー基地及びセラピーロードに認定(霧島市は平成19年3月認定)されており、認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興に活用することができる。

<関連計画>観光基本計画
【森林セラピーロード】柳ヶ平、丸尾自然探勝路、手洗散策路

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 体験イベントの回数	回	1	2	2	2	2
イ						
ウ セラピーロード数	本	3	3	3	4	4

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客(イベント参加者)	イベント参加者数	人	55	106	53	100	100
イ 指導者(森林セラピーガイド)	セラピーガイド会員数	人	0	7	7	7	7
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 癒される	イベント満足度	%	※	98	100	100	100
イ ガイドを要請する	要請回数	回	※	3	5	5	6
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 観光に活用できる資源が開発される	開発された観光素材の数	本	29	35	37	40	45
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市誕生以前の平成17年中に、旧牧園町の関係者からこの事業に対する取り組みが提案され、合併後も霧島市に引き継がれている。平成17年中に第2期の森林セラピー候補地として名乗りをあげ、平成18年中に専門家チームによる生理実験を実施し、癒し効果が科学的に解明され、平成19年3月に九州で2番目、鹿児島県では初めてとなる森林セラピー基地に認定された。平成25年度からはセラピーガイドクラブも発足し、今後は事業の拡大及び充実が期待される。市民や議会などからの意見は特になし。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,653	1,196	1,259	1,388
		事業費	千円	1,653	1,196	1,259	1,388
投資量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
森林セラピーイベントの開催(7月、11月) 県外イベントでの周知及び誘致(3回)	平成26年度は7月と11月にセラピーイベントを実施したが、イベント参加者の100%の方からよい評価をいただいた。また、広報誌やフリーペーパーなど情報誌への掲載もありセラピーガイドクラブへのガイド申請も増えた。

事務事業コード	0107010403030202	事務事業名	森林セラピー推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	年に2回のイベントなどの参加者が増加すれば観光に活用できる資源が開発されることにつながる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、霧島市としての特色づくりと情報発信を行う必要があり、霧島温泉地区において、施設整備や健康メニューの検討などを協議し、森林セラピー基地としての事業展開を確立する必要があることから妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	将来的には更なるセラピーロードの整備をし、温泉・健康食品・クラシック音楽など、各種の資源を活かしたセラピーメニューを開発すると共に、医療とも連携したセラピー事業を展開することにより、セラピーロード数も増え、成果の向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	森林セラピー基地の認可を受けただけで、終わってしまい、セラピーロードを整備・活用しなければ観光商品として活用できない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	平成25年度に設立された霧島森林セラピーガイドクラブへセラピーイベント事業の一部を移管することで業務時間の短縮につながり人件費の削減ができる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	セラピーロードは誰でも無料で利用できるもので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善・連携 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成26年度に新しい観光施設として誕生した霧島神水峡遊歩道をセラピーコースにできないか検討し、可能であれば新しいセラピーロードとして申請し、観光資源として付加価値を付ける。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	森林セラピーという事業や効果などの周知に力をいれ多くの方に知ってもらえるような取組をしたい。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)																	
(1)事務事業の改革改善方向性	<table border="1"> <tr> <th>継続</th> <th>やり方改善</th> <th>コスト拡充</th> <th>コスト縮小</th> <th>連携</th> <th>統合</th> <th>休止</th> <th>廃止</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止								
継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止										
(2)総評																	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030203	事務事業名	ハネムーンウォーク実行委員会活動支援事業		担当部	商工観光部	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			担当課	観光課	
施策名	03	観光業の振興			グループ	観光地づくりG	
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発			電話番号	45-5111	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 9 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会に龍馬ハネムーンウォークin霧島の運営補助として補助金を交付している。(市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。(同実行委員会の活動)龍馬ハネムーンウォークin霧島の開催(参加者の募集・当日の運営など)
 ※同実行委員会は、霧島の自然や歴史を楽しむ事を目的に開催している龍馬ハネムーンウォークin霧島運営を行う団体。郵便局や市内業者を会員として運営されている。
 開催時期:3月中旬の土日(2日間)
 参加料:[事前申込み]一般1,800円、中・高校生900円、小学生以下400円
 [当日申込み]一般2,000円、中・高校生1,000円、小学生以下500円
 コース:霧島温泉、犬飼・中津川、花はきりしま菜の花、隼人・天降川の4コース
 イベントの周知方法:南日本放送を通じての参加者募集、前年度の事前申込者への申込書の送付

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 事前申込者数	人	1,747	2,042	2,217	2,100	2,300
イ 当日参加者数	人	1,463	1,166	1,243	1,400	1,400
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア ハネムーンウォーク参加申込者	ハネムーンウォーク参加申込者数(事前申込+当日参加者)	人	3,210	3,208	3,460	3,500	3,500
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 龍馬ハネムーンウォークに参加することにより、霧島市を歩きながら知ってもらう	ハネムーンウォーク参加者数(実人数)	人	2,898	2,860	3,140	3,300	3,300
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 観光に活用できる資源が開発される	開発された観光資源の数	本	29	35	37	40	45
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

1866年土佐の坂本龍馬と妻のお龍が日本で最初の新婚旅行に訪れた地、霧島を現代の龍馬とお龍になって歩き、霧島の自然や歴史を楽しむことを目的に平成9年から開催された。平成19年度から霧島地区の「花はきりしま菜の花コース」と隼人地区の「隼人・天降川コース」が追加された。平成20・21年度は実行委員会の事務局を担う団体がおらず、市で実行委員会の事務局を担った。平成24年度から市観光協会が事務局を担っている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,000	2,600	2,000	0	0
	事業費	千円	2,000	2,600	2,000	0	0
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成26度はWEB上から参加申し込みをできるようにした。 事前申込者数:2,217人 当日申込者数:923人 例年、実行委員会でスポンサーを募り、商店街等からの協賛の徴収を積極的に行った。 協賛金:667,800円	昨年より協賛金が増額ができた。 また、WEB上で事前申込を可能としたことにより事前申込者が増え、安定した実行委員会の運営が行えた。 平成26年度は晴天ということもあり、多くの参加者が訪れた。コースの沿道では地元の方々のおもてなしに参加者も満足されたようで霧島市の魅力発信につながった。

事務事業コード	0107010403030203	事務事業名	ハネムーンウォーク実行委員会活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	ハネムーンウォーク参加申込者が龍馬ハネムーンウォークに参加することにより、霧島市を歩きながら知ってもらうことで、間接的に観光に活用できる資源が開発されている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が実行委員となりイベントを開催することで、地域活動の活性化となり、観光客の誘客と霧島市のPRと地域素材を活かすことによるため妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	アンケートをもとに参加者へのサービス向上を図り、満足度が上がれば、参加者数が増加すると考えられるので、成果の向上の余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	ウォーキングイベントとして定着しており、廃止すれば霧島市のイメージダウンに繋がりが、霧島市を知ってもらう機会が失われるため影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 市観光協会支援事業、天孫降臨霧島祭実行委員会支援事業、「ハンギリ出し」開催支援事業、ほぜ祭り開催支援事業 各種イベントの主体を観光協会とすることで、補助金事務の軽減や事業間の調整、裁量権の向上につなげることができる。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	実行委員会が協賛企業を増やしたり、商店街等からの寄付の徴収したり、積極的に行い、参加料を見直すことにより事業費の削減は可能である。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することができる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	参加資格は「国籍、年齢、性別を問わず健康な方(但し、用事は保護者と同伴)」となっており、またイベント参加者から参加料を徴収し、運営しているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・コスト縮小 >								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成27年度は第20回大会を迎えることから記念イベントの開催やハネムーンウォークに海外からの外国人の参加を促し、霧島市への誘客を図る。 また、平成27年度から事務事業の軽減とともに効果的な支援体制の充実のために「市観光協会活動支援事業」に統合します。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	参加者を増やすための取り組みとして、参加者やスタッフのアンケートを整理し実現可能な意見を取り入れできないか検討します。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030204	事務事業名	国立公園「霧島」指定80周年記念事業		担当部	商工観光部	
					担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			グループ	観光地づくりグループ	
施策名	03	観光業の振興			電話番号	45-5111	
基本事業名	02	地域の特色を活かした観光資源の開発			内線番号	2615	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H25 ~ H26)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

昭和9年3月16日、わが国で最初の国立公園としての指定を受け風光明媚・人情豊かな地域性の中で国内外から多くの観光客に探訪頂き、知名度も『霧島』の名のもとに広く知れわたっている。
 国立公園指定80周年目を迎え、現状をしっかりと把握した上で大自然や環境を後世に引き継いでいくために、80周年の誕生日から1年の間、地域、市民を巻き込んでのイベントを開催し、国立公園『霧島』の持つ意義や重要性などの啓発活動に努めるとともに、活気ある諸イベントの展開を図ります。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 80周年を記念しておこなった事業数	事業		5	21		
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 国立公園を利用する市民及び観光客	観光客数(宿泊+日帰り)	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,118,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 国立公園の意義や重要性を知らせる。	イベント参加者	人		1,565	1,635		
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 訪来者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

80周年を迎えるにあたり、環境省や観光協会、各旅館協会などからも記念イベントを合同で実施してほしいとの要望等が寄せられている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			1,200	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			1,200	0	0
	事業費	千円	0	0	2,400	0	0
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
国立公園『霧島』の持つ意義や重要性などの啓発のため、各種イベントを実施し、多くの方に参加いただいた。 特に霧島の温泉をめぐるスタンプラリー「きりしまゆ旅」は述べ739人の方に参加いただいた。	イベント等の実施で、国立公園「霧島」の認知度向上に繋がったと思われる。 また、「きりしまゆ旅」により、霧島の温泉を全国にPRし、施設への入浴料収入で500万円以上の経済効果があった。

事務事業コード	0107010403030204	事務事業名	国立公園「霧島」指定80周年記念事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？	国立公園を利用する市民及び観光客に国立公園の意義や重要性を知らせることで、訪来者をもてなす受け皿ができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？	節目の80周年であることや国立公園「霧島」の持つ意義や重要性などの啓発活動に努めることは、後世に引き継ぐためにも妥当である。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？	平成26年度で終了した事業のため。	
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？	平成26年度で本事業は終了した。	
	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	なし
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業はない。	
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	平成26年度で終了した事業のため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	平成26年度で終了した事業のため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	誰もが参加できるイベントであることや広く情報を発信するため公平性は保たれている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)								
(3)平成28年度の方向性・取組目標								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0107010403030204	事 務 事業名	国立公園「霧島」指定80周年記念事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1 報 酬			
2 給 料			
3 職 員 手 当 等			
4 共 済 費			
5 災 害 補 償 費			
7 賃 金			
8 報 償 費			
9 旅 費			
10 交 際 費			
11 需 用 費	0	0	0
消耗品費			
燃 料 費			
食 糧 費			
印刷製本費			
光 熱 水 費			
修 繕 料			
賄 材 料 費			
飼 料 費			
医 薬 材 料 費			
12 役 務 費	0	0	0
通 信 運 搬 費			
広 告 料			
手 数 料			
保 険 料			
13 委 託 料			
14 使用料及び賃借料			
15 工 事 請 負 費			
16 原 材 料 費			
17 公 有 財 産 購 入 費			
18 備 品 購 入 費			
19 負担金補助及び交付金	2,400	0	
20 扶 助 費			
21 貸 付 金			
22 補償補填及び賠償金			
23 償還金及び割引料			
24 投資及び出資金			
25 積 立 金			
26 寄 附 金			
27 公 課 費			
28 繰 出 金			
計	2,400	0	0
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	1,200	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	1,200	0
計	2,400	0	0
補助率	国		
	県		
補助基本額			

平成26年度補正・流用状況

当初予算	2,400
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	2,400

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
県支出金	地域振興推進事業費	1,200
合計		1,200

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030301	事務事業名	市内各種観光施設維持管理総務事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市経営健全化推進計画(第2次/改定版)(平成26年12月策定)において、持続可能な健全財政を確立するため歳出削減に関する取組を全庁的に推進する必要があるとされ、その中で、需用費や役務費については常にコストを意識し、不要不急な物品の購入や電気・電話・水道の浪費等を厳に慎むことで節減に努め、また、ランニングコスト削減に資する機器の導入等を検討し、維持管理費の削減に努めることとされている。

【修繕事務】
 ・市内観光施設の修繕を行う。
 【光熱水費】
 ・市内観光施設のトイレなどの電気料、水道料などの支払い
 【委託料事務】
 ・市内観光施設のトイレ清掃や除草作業を行う。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 修繕の実施回数	件			23	23	23
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 課内の各種業務							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 円滑に実施される							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

市内各種観光施設維持管理総務事業は、観光施設のトイレ清掃や除草作業やトイレの維持管理及び施設修繕等を実施。修繕については、優先順位を決め、予算の範囲内で適切な管理に努めている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			13,624	10,719	10,719
		事業費	千円	0	0	13,624	10,719	10,719
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【消耗品購入】 21件 97,409円 【各種施設修繕】 23件 6,935,197円 【各種施設管理委託・清掃委託】 37件 4,743,332円	適切な維持管理に努めたことにより、観光客に快適な施設等の提供することができた。

事務事業コード	0107010503030301	事務事業名	市内各種観光施設維持管理総務事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		事業費はトイレの清掃、光熱水費、除草作業などの維持経費であるため、向上する余地はほとんどない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	快適な観光施設を維持するために必要な経費であり削減できない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
(1)事務事業の改革改善の方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各種観光施設の適正な維持管理を行うため、管理委託、修繕等の事務を滞りなく行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	今後も観光施設が増加することが考えられるが、施設維持に必要な事務を適正に行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	【参考】前年度の改革改善の方向性<						>	
	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030301	事務事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRG		
施策名	03	観光業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2611		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 50 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

妙見・安楽地域の活性化と連帯感を深めることを目的として、設立された団体。地域住民を会員として運営されている。温泉振興会・安楽温泉振興会に対し、国道223号沿線に花を植栽するための補助金を交付している。
 (市の活動) 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・実績報告・補助金交付)を行う。
 (団体の活動)
 日本最古の温泉由来がある安楽温泉の景勝と街並みを守り、地域振興の発展のため、旧牧園町の町木であるモミジを継続的に植栽し、安楽温泉の名所づくりに努め、市内外からの集客をはかり、霧島市の観光事業行政に寄与することを目的としている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2	2
イ 植栽等活動参加者数	人	40	40	40	40	40
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 妙見・安楽地区の団体	補助した団体数	団体	2	2	2	2	2
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 景観向上のための整備をする。	植栽等もみじ管理活動回数	回	4	4	5	4	4
イ 景観向上のための整備をする。	管理施設数	箇所	2	2	2	2	2
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市への観光客数が増加する。	国内からの宿泊観光客数	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国道223号沿線に花を植栽することによって、霧島を訪れる観光客に癒しの一時を提供するとともに、地域住民の連帯感を深めることを目的に昭和50年から開始された。特に変化なし。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	764	741	711	661	661
	事業費	千円	764	741	711	661	661

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
補助した団体数 2団体 植栽等活動参加者数 40人	和気公園までのモミジ街道づくりに加え、藤まつりへの参加、和気神社・大飼の滝周辺の看板外灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレ歩道の下刈り整備等を行った。 妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号線沿いにもみじを植栽したり、草刈等の整備を実施することで、景観を向上させ、観光客へ「観光地霧島」というイメージを持ってもらうことに努めた。

事務事業コード	0107010403030301	事務事業名	安楽妙見温泉街並みづくり活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	妙見・安楽地区の景観が向上することは、霧島市観光客の増加につながるもので結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるためである。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	花の植栽面積は限度があり、拡大、縮小の余地はない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	補助金が廃止・休止になれば、花の植栽面積減少し、景観も低下する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 妙見・安楽への観光客誘致促進のための補助事業はあるが、目的が異なるため、統合することはできない。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	最低限の予算で花を植栽しており削減余地はない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	通り会も自主財源を投資しており、街並み全体がきれいになるので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・連携 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	和気公園までのモミジ街道づくりや和気神社・犬飼の滝周辺の看板外灯管理、龍馬ハネムーンウォークや九州オルレ歩道の下刈り整備等を行うことで、同地区を訪れる観光客に対して美しい景観を提供し、観光客の満足度アップに努める。							
(3) 平成28年度の方 向性・取組目標	妙見・安楽の各温泉振興会へ街並みづくり(花の植栽)に係る補助金を交付し、霧島地域の観光の玄関口である同地区の国道223号線沿いに花を植栽し、観光客の満足度及び「観光地霧島」のイメージ向上を図っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030302	事務事業名	観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	64-0895		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島神宮大鳥居横にある「霧島市観光案内所」の委託契約を公益社団法人霧島市観光協会と締結している。観光案内所では、地元の特産品販売の他、足湯、駐車場、トイレの管理や観光案内業務を通して霧島市へ訪れた観光客に対しておもてなしをしている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 営業日	日	361	362	361	362	361
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	案内人数	人	64,210	59,300	53,710	65,000	65,000
イ 観光客	足湯利用者	人	38,526	35,580	32,226	40,000	40,000
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 満足度を向上させる	苦情件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島市で最も多くの方が訪れる霧島神宮大鳥居近くに場所を設ける観光案内所には多くの観光客が訪れる。案内所には事務所の他、トイレ、足湯もあり観光客の休憩所としてもなくてはならない場所であり地元霧島地区の方々にとっても大切な場所である。市民や議会からも否定的な意見はなく、今後も観光地霧島をPRし、観光客をもてなす受け皿として期待される。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	5,233	5,409	5,411	5,411
	事業費	千円	0	5,233	5,409	5,411	5,411
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
観光客が立ち寄り、快適に観光案内を受けられるよう施設内の修繕を行った。 【平成27年3月 区画線修繕:99,360円】 観光客が気軽に観光案内を開けるよう、スタッフの接客の向上に努めた。	観光案内所を訪れる多くの観光客に満足していただくような対応ができ、昨年度に引き続き苦情件数が0件であった。

事務事業コード	0107010503030302	事務事業名	観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島市の人気観光スポットである霧島神宮の大鳥居横という、観光客が気軽に立ち寄れる場所に観光案内所はあり、観光客にとって重要な情報収集の場となっている。観光客に対しスムーズかつ多様な情報を提供することで、観光地「霧島市」としての満足度を向上させ、観光客をもてなす受け皿をつくる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客をもてなし、受け入れる体制を整備するということは市の責務であり、妥当である。また、受け入れ体制の整備によって観光客の増加につながり、観光地周辺の経済効果を高めることにもつながる。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現時点で大きな問題等はないが、年々案内所及び足湯の利用者数が減少している。観光案内所として、また観光地の一つの足湯としてより利用する観光客が増えるよう、PRが必要である。また、観光案内業務等のサービス業は常に改善を目指すものであり、現状に満足せずに向上を目指す姿勢は常に持ち続けるべきである。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	無料で観光案内をする施設は、他に丸尾の観光協会があるが、霧島神宮周辺とは離れており、観光案内所が廃止された場合、近隣に観光客が観光情報を収集できるような施設がなくなってしまう。廃止することは、観光客に不便さを強いることになり観光地としてのイメージダウン及び観光客の減少を招く。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等 なし
	<input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	霧島神宮周辺に観光客に対して総合的な案内業務を提供でき、トイレ・足湯などが整備され観光客が気軽に立ち寄って休憩できるような類似施設はない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、最小限の指定管理委託料で業務委託をしており、削減は難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在、最小限の指定管理委託料で業務委託をしており、削減は難しい。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	利用に関して条件はなく、訪れた観光客すべての人が利用できるもので、公平・公正性は確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	平成26年度に完成した霧島神水峡遊歩道の案内を含め、霧島市を訪れた観光客に対して観光案内業務を行っていく。また、利用者増加につながるように観光客にとって最もほしい情報が素早く提供できるように観光課だけでなく各周辺施設との連携を密にしながら提供する情報の質を高めていく。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	観光客に対してより丁寧な接客ができるように接客等の職員研修を開き、観光客の印象に残るような心温まる接客を心がけ質を高める。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

事務事業コード	0107010503030302	事務事業名	観光案内所管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料		0	
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	18	20	20
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料	18	20	20
13	委託料	5,391	5,391	5,391
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		5,409	5,411	5,411
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	5,409	5,411	5,411	
計		5,409	5,411	5,411
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	5,410
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	5,410

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010403030302	事務事業名	九州自然遊歩道維持管理受託事業			担当部	商工観光部	
						担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			グループ	観光地づくりG		
施策名	03	観光業の振興			電話番号	64-0895		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費				根拠法令・条例等		
	項	01 商工費						
	目	04 観光費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

九州自然遊歩道は、九州7県を循環しており、霧島市には福山地内(狐ヶ丘)に3.7kmあり、遊歩道からは、桜島や錦江湾の眺望が広がり、初夏には自生のツツジ、秋には銀色のススキの群生を見ることが出来る。

【委託先】公益社団法人霧島市シルバー人材センター
 【委託料】142,800円
 【委託業務内容】年4回の草払いや美化パトロール、軽微な修繕の実施

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 作業にかかった人員	人	21	21	17	17	17
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,118,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 遊歩道からの景観により霧島市に魅力を感じてもらおう	苦情件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

九州自然遊歩道は、環境省の長距離自然歩道構想に基づき、全国で2番目に整備された自然歩道で、1980年に全線が開通した。定期的に草払い作業や簡易な修繕をすることで、訪れた人に常に美しい景観を提供している。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			143	153	153
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			0	0	0
		事業費	千円	0	0	143	153	153
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
年に4回の草払いを行い、訪れた人に美しい景観を提供できるようにした。簡易な修繕に関しては、26年度は必要な部分はなかったため行ってない。 除草費用 143千円	定期的な草払い等を行い、利用者が気持ちよく利用できるように努めた。修繕が必要な部分が無いかの確認も定期的に行うため、常に整備された状態が維持できており、苦情件数は0件を続けることができています。

事務事業コード	0107010403030302	事務事業名	九州自然遊歩道維持管理受託事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	旅行者に遊歩道を歩いたり、景観を眺望することによって霧島市に魅力を感じるしてもらえるようにし、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光施設の整備、景観形成等、観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	維持管理を徹底し、また広く周知することで、観光客数も増加につながり、成果の向上が更に図られる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	遊歩道が草等で荒地の状態だと、観光客に悪い印象を与えてしまうので廃止はできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等
	<input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない	除草や簡易な修繕などの定期的な維持管理によって、遊歩道を美しく保ち、観光客をもてなす受け皿をつくる事業は他に類似の事業がない。
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	現在委託をしているが地元の高校生やボランティアなどに管理を任せることで、事業費の削減の余地がある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	維持管理をすべて外部へ委託しているので、削減余地がない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	老若男女問わず、誰もが歩くことができ、また憩いの場として利用できる。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	錦江湾を望む場所にあり、景観がよいが、場所がわかりづらいため、案内パンフレットの配布や情報誌などへの情報提供をし、また、案内看板の設置ができないか検討する。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	錦江湾を望む場所にあり、景観がよいが、場所がわかりづらいため、案内パンフレットの配布や情報誌などへの情報提供をし、また、案内看板の設置ができないか検討する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030303	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	64-0895		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 19 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	特になし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

観光客の方により思い出深く、充実した旅行を提供できるように観光客からの申込を受け、案内可能な観光ボランティアガイド『しっちょいどん』の手配をする。『しっちょいどん』とは『しっちょい』は「いろいろなことを知っている」、「どん」は「人」の意味。旅行中、地域の方々と『しっちょいどん』を通して触れ合うことで、霧島の「おもてなし」を体感していただき、リピーター増加につながるようにする。また、より質の高い「おもてなし」を提供できるよう、定期的に『しっちょいどん』の研修を開催する。

【ボランティアガイド数】18名
 【ボランティア料金】お客様お1人につき300円。
 【ガイドコース】①霧島神宮コース、②和気公園・犬飼滝コース、③日当山コース

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア ボランティアガイド養成研修の開催回数	回	3	1	4	3	3
イ ガイドを行った回数	回	41	43	70	50	50
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,118,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア ボランティアガイドを利用してもらおう	ボランティアガイドを利用した観光客数	人	293	702	1,055	800	800
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

大河ドラマ「篤姫」が放映されたことを契機に県内の観光地では篤姫に関する史跡を巡る観光ツアーが増えてきた。そのため史跡めぐりの際にまちあるきの案内をするガイドは必要であり、平成19年度から本市でも取り組みを開始した。近年の旅行形態は単なる物見遊山のものではなく、体験型が主流になっている。ボランティアガイドと一緒に実際にまちを歩き、テーマに沿った説明を聞き、そのものを見ると同時に住民とのふれあいもあることから、利用者のニーズに合った旅行形態であると考えられる。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	38	22	17	42	42
事業費		千円	38	22	17	42	42
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
これまで個人をターゲットにしていたが、バスツアーなどを利用する団体に対しても観光ボランティアガイドが案内を行った。 ボランティアガイドの案内件数70件、案内者数1,055人 また、丁寧な説明や接客ができて5回の研修を行った。 ・霧島市シルバー人材センターのシルバー観光ガイドの方と研修:2回 ・屋久島里めぐり推進協議会と交流を兼ねた合同研修会。 ・始良・伊佐地域観光ボランティアガイド研修に参加。 ・「明治維新150年」に向けたガイド団体向け研究集会に参加。	個人旅行での利用者の増加に加え、団体バスツアーの利用者が増加したことで、霧島市内の観光施設の魅力を紹介できた。

事務事業コード	0107010403030303	事務事業名	観光ボランティアガイド運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に対してボランティアガイドを行い霧島市を知ってもらうことによって、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	観光客を受け入れる体制を整備するということは市の責務であり、妥当である。受け入れ体制を整えることで、観光客の増加につながり、更には観光地周辺の経済効果が高められる。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在、観光ボランティアガイドは18名の登録であるが、高齢化が進んでいる。また、急きょガイドの申込が入ることも多々あり、対応できるガイドに偏りが生じている。安定した案内をするために類似団体と統合を含めた連携を図ることで向上する余地はある程度ある。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	現在の観光客のニーズは着地型・体験型が主流となっていることから、今の時点で廃止することは観光客の減少を招き、観光地「霧島市」としてのイメージダウンにつながる恐れがある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等 霧島市シルバー観光ガイド
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	観光客の案内を目的とした霧島市シルバー人材センターの観光ボランティアガイドがあることにより統合又は連携できる。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	研修に係る事業費であり、削減することはサービスの低下に繋がることから、削減は出来ない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	ボランティアガイドの運営は市の職員が行っており、霧島市観光協会への委託、又は霧島市シルバー人材センターの観光ボランティアガイドへの統合ができれば、職員の業務時間等を削減できる。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ガイドの手配は、常に申込順に行っており、料金も一律お一人様300円と低額である。よって、観光客への公平・公正さは確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○			○		
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	観光ボランティアガイド「しゅちよいどん」については、メンバーが高齢化していることもあり、観光ガイドとして活動している霧島シルバーガイドクラブやその他のガイドクラブと連携を図りながら霧島市に訪れた人への観光案内に取り組む。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	他の観光ガイドとの連携を図り、霧島市を楽しんでいただけるようにボランティアガイドのPRとガイド養成を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010503030303	事務事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業			担当部	商工観光部	
						担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			グループ	観光地づくりグループ		
施策名	03	観光業の振興			電話番号	45-5111		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費				根拠法令・条例等	霧島市国分キャンプ海水浴場の施設の管理条例	
	項	01 商工費						
	目	05 施設管理費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市国分下井洲崎に設置している。
 ■施設概要 トイレシャワー更衣室A(中央)(昭和57年7月完成)、 トイレシャワー更衣室B(西側)(平成8年2月完成)
 トイレシャワー更衣室C(東側)(平成9年3月完成)、 監視棟(昭和57年7月完成)
 売店管理棟(昭和57年7月完成)、 炊事棟A(昭和57年7月完成)、 炊事棟B(昭和59年3月完成)
 管理倉庫(平成5年5月完成)、 管理事務所(平成元年4月完成)、 バンガロー(平成9年3月完成)

■指定管理者 一般財団法人霧島市施設管理公社 ■指定期間 平成23年度から平成27年度まで

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 開館日数(バンガロー、テント)	日	62	62	62	62	62
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,116,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	43,358	42,854	61,358	62,000	62,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

海水浴場の水質調査で最も高い評価である「AA」となっており、利用者から「水質に関しては安心して利用できる」と好評を頂いている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			10,558	12,062	12,062
	事業費	千円	0	0	10,558	12,062	12,062
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

【指定管理委託料】 10,528,513円	指定管理者による適正な管理がなされた。
--------------------------	---------------------

事務事業コード	0107010503030303	事務事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	指定管理者の自主事業等により、利用者数が増加する可能性がある。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	バンガローの利用ができなくなり、警備員もいなくなるため安全に海水浴を楽しむことができなくなる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	なし
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用料金制(施設利用の料金が指定管理者の収入となる制度)を採用しているので、料金収入が向上すれば、指定管理者への委託料を削減できる。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも使用できる施設で、バンガロー等は利用者から利用料金を徴収しているので、公平・公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	炊事棟の屋根及びウッドデッキの修繕、ごみ焼却炉の撤去を行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	海水浴場の管理事務所及び倉庫の修繕が必要か検討する。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

事務事業 コード	0107010503030303	事務 事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	1,500	1,500
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料		1,500	1,500
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	32	33	33
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料	32	33	33
13	委託料	10,526	10,529	10,529
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		10,558	12,062	12,062
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	10,558	12,062	12,062	
計		10,558	12,062	12,062
補助率				
国				
県				
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	10,559
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	10,559

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010503030304	事務事業名	国分ハイテク展望台管理運営事業			担当部	商工観光部	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり	担当課	観光課				
施策名	03	観光業の振興	グループ	観光地づくりグループ				
基本事業名	03	観光客の受入体制充実	電話番号	45-5111				
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島市国分ハイテク展望台の設置及び管理に関する条例		
	項	01 商工費				関連計画	霧島市観光基本計画	
	目	05 施設管理費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価					

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市国分ハイテク展望台(霧島市国分上野原テクノパーク2番1号)は個性的で魅力あるまちづくりを推進するための施設です。
 ■平成4年2月開館 ■鉄筋コンクリート3階建 ■敷地面積/15,564㎡
 ■延床面積/1階・・・355.84㎡(事務室、売店、食堂、トイレ等)、2階・・・219.06㎡(展示室、会議室、トイレ等)、3階・・・290.58㎡(展望室)、屋外施設(イベント広場、噴水、駐車場、トイレ等)
 ■開館時間 ア 4月1日から9月30日まで、午前9時30分から午後6時まで イ 10月1日から翌年の3月31日まで、午前9時30分から午後5時まで
 ■休館日 ア 月曜日(月曜日が祝日の場合はその後の最初の平日) イ 12月31日から翌年1月1日までの日
 ■指定管理者 一般財団法人霧島市施設管理公社 ■指定期間 平成22年度から平成26年度まで

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 開館日数	日	307	307	307	308	307
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	0	0	0	3	4
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,367,062	7,715,418	7,538,991	7,959,000	8,116,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	8,449	7,825	6,491	7,000	7,500
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

施設の老朽化により、雨漏りがある。また、1階の食堂が利用されていない状況である。木が大きくなり、街の景色が見づらいという意見があった。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			33	24	0
		一般財源	千円			8,710	8,315	8,597
		事業費	千円	0	0	8,743	8,339	8,597
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理委託料】 8,729,486円	指定管理者による適正な維持管理がなされた。

事務事業コード	0107010503030304	事務事業名	国分ハイテク展望台管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	指定管理者の自主事業等により、利用者数が増加する可能性がある。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設の利用が出来なくなる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	なし
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設を運営する最低限の事業費なので、削減できない。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	だれでも使用できる施設で、会議室等は使用者から利用料金を徴収しているので、公平・公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	ハイテク展望台の2階会議室の屋根及び外壁からの雨漏りがあるため修繕を行います。また、自主事業の開催や植栽等の維持管理を適切に行いながら観光客数の増加を図ります。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	自主事業の開催などにより観光客の増加を目指します。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0107010503030304	事務 事業名	国分ハイテク展望台管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	900	900
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料		900	900
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	13	14	14
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料	13	14	14
13	委託料	8,730	7,425	7,425
14	使用料及び賃借料			258
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		8,743	8,339	8,597
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	33	24	
一般財源	8,710	8,315	8,597	
計		8,743	8,339	8,597
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	8,744
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	8,744

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	ハイテク展望台使用料	33
	合計	33

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010403030304	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業			担当部	商工観光部	
						担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			グループ	観光PRG		
施策名	03	観光業の振興			電話番号	45-5111		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2611		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費				根拠法令・条例等		
	項	01 商工費						
	目	04 観光費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

日当山温泉旅館組合とは、日当山地区への観光客誘致を目的として設立した団体。日当山地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。(市の活動)
 日当山地区を訪れた観光客の受入のため、日当山温泉旅館協会が行っている観光誘致宣伝活動などの事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。
 補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 国民	日本の人口	千人	127,515	127,298	127,083	126,597	126,597
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 日当山地区を知ってもらふ。	誘致のための宣伝活動回数	件	4	4	4	6	7
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。	国内からの宿泊観光客数	人	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

日当山地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に開始された。特になし

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	230	243	245	246
		事業費	千円	230	243	245	246
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
ホームページ作成による宣伝活動 日当山夏祭りや日当山秋の収穫祭と連携した誘客活動 日当山地区清掃活動(日当山駅2回・西郷どんの宿周辺1回)	鮎祭り、日当山夏祭りや秋の収穫祭を実施したことで、地域の活性化が図れた。 また、夏祭りではオリジナルタオルを作成・販売し、日当山温泉の知名度向上に努めることができた。

事務事業コード	0107010403030304	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	日当山温泉旅館組合に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで日当山をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるためである。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	日当山旅館組合は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・連携 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	鮎祭りや日当山夏祭り、秋の収穫祭等のイベントを行い、観光客誘致と地域活性化、日当山地区の情報発信を行う。また、ホームページやリーフレットを活用した観光宣伝を行い、日当山地区の知名度向上に努める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携強化を図り、より効果的な観光宣伝活動を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業コード	0107010403030304	事務事業名	日当山温泉旅館組合運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	245	246	246
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		245	246	246
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
その他		0	0	0
一般財源		245	246	246
計		245	246	246
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	245
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	245

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	0107010503030303	事務事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業			担当部	商工観光部	
						担当課	観光課	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり			グループ	観光地づくりグループ		
施策名	03	観光業の振興			電話番号	45-5111		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実			内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 4 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費				根拠法令・条例等	霧島市台明寺溪谷公園の設置及び管理に関する条例	
	項	01 商工費						
	目	05 施設管理費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市台明寺溪谷公園(霧島市国分台明寺1253)は住民のレクリエーションと健康増進を図るための施設である。
 ■平成4年4月開園 ■施設 駐車場、東屋、遊具施設、橋、トイレ等 ※遊具施設については、用水路からの漏水のため現在閉鎖中

■指定管理者 一般財団法人霧島市施設管理公社 ■指定期間 平成22年度から平成26年度まで

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 開園日数	日	365	365	365	366	365
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,118,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	開園日数	日	365	365	365	366	365
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国分ハイテク展望台と共に指定管理者による管理を行っている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			591	294	294
		事業費	千円	0	0	591	294	294
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【台明寺溪谷公園指定管理料】 527,657円	指定管理者による適正な維持管理がなされた。

事務事業コード	0107010503030305	事務事業名	天明寺溪谷公園管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	指定管理者の自主事業等により、利用者数が増加する可能性がある。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設の利用が出来なくなる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	なし
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	施設を運営する最低限の事業費なので、削減できない。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも利用できる施設なので、公平・公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <						>	
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
		○							
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	利用者が快適に公園を利用できるように施設の維持管理に努めます。								
(3)平成28年度の方方向性・取組目標	利用者が快適に公園を利用できるように施設の維持管理に努めます。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

事務事業 コード	0107010503030305	事務 事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業		担当部	商工観光部
			担当課	観光課		

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	3	4	4
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料	3	4	4
13	委託料	588	290	290
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		591	294	294
財源内訳	特定財源 国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	591	294	294
計		591	294	294
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	592
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	592

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010403030303	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課	
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG	
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	07 商工費			根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	01 商工費				
	目	04 観光費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

新川渓谷温泉郷の中にある妙見温泉振興会、安楽温泉振興会の運営・宣伝事業に対し入湯税の還元として補助金を交付している。(市の活動)妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付
 (各団体の活動)妙見・安楽地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(モミジ植栽、サイン整備、街路灯の管理) *妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。妙見・安楽地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	2	2	2	2	2
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 国民	観光客数	千人	127,545	127,298	127,083	126,597	126,597
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 安楽地区を知ってもらおう	誘客のための宣伝活動回数	件	4	5	4	6	7
イ 妙見地区を知ってもらおう	誘客のための宣伝活動回数	件	4	5	4	6	7
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れる観光客が増える	国内からの宿泊観光客数	位	966,141	947,019	872,446	1,017,000	1,038,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和40年代より、妙見・安楽地区の観光振興を図ることを目的に開始された。特に変化なし。特になし。特になし。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	207	182	188	190
		事業費	千円	207	182	188	190
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【安楽温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤まつり、鮎まつりの開催協力 ・温泉神社祭り ・遊歩道の整備 <p>【妙見温泉振興会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した宣伝活動(HP運営) ・九州オール霧島妙見コース管理 ・藤まつりの開催協力 ・日本温泉地域学会での観光宣伝活動(2回) 	<p>各振興会での宣伝事業等に加え、「国立公園霧島80周年記念実行委員会」、「いざ霧島キャンペーン実行委員会」等、他の観光関係団体とも連携した宣伝活動を行うことで、より効果的な宣伝活動が実施できた。また、九州オール「霧島・妙見コース」の認定により、韓国からの観光客が訪れている。</p>

事務事業コード	0107010403030305	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に対する運営・宣伝補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで妙見安楽地区をより知ってもらい、霧島市への観光客数を増やすことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるためである。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会は市からの補助金だけでなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・連携 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	藤まつりや温泉神宮まつり等のイベントを行い、観光客誘致と地域活性化、妙見・安楽地区の情報発信を行う。また、ホームページやリーフレットを活用した観光宣伝等を行い、妙見・安楽地区の知名度向上に努める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携強化を図り、より効果的な観光宣伝活動を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)																	
(1)事務事業の改革改善方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>継続</th> <th>やり方改善</th> <th>コスト拡充</th> <th>コスト縮小</th> <th>連携</th> <th>統合</th> <th>休止</th> <th>廃止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止								
継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止										
(2)総評																	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030306	事務事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島高原国民休養地設置及び管理に関する条例、霧島高原国民休養地運営審議会規則	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
国民休養地(牧園町)は、昭和48年に開館し、各種の野外レクリエーション施設で、敷地面積は26ヘクタールで管理休憩棟1棟、入浴施設1棟、セントラルロッジ1棟、コテージ9棟、ケビン5棟、炊事棟3棟、テニスコート、キャンプ施設などの施設があります。営業時間は午前9時～午後8時。
【指定管理者】
福地建設株式会社 指定管理期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	1	1	1	1	1
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	2	2	2	2	2
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,118,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 多くの方に施設に来てもらう	施設利用者数	人	55,785	57,576	52,389	54,000	55,600
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア もう一度行ってみたい温泉地ランキング	じゃらん実施のアンケート	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

利用者からは清潔で従業員が親切であるなどのご意見が寄せられている。水場・トイレが少ない、グランド内に日陰が少ない、雨の日のパーベキューができるようにコテージに屋根がほしい等の苦情もあった。また、樹木に対する病気の蔓延など年々施設の維持管理に係る経費は多くなっている。市民や議会からは樹木に蔓延した病気(てんぐ巢病)への伐採対応について意見があった。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			1,568	2,306	2,306
事業費		千円	0	0	1,568	2,306	2,306
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【指定管理料実績】 霧島高原国民休養地指定管理料 250,000円	適切な維持管理や景観を考慮した樹木管理により安心、安全、快適に利用できる施設として機能が確保できた。

事務事業コード	0107010503030306	事務事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の所有物である本施設の管理を、市が行うのは当然である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	コテージなどの宿泊施設や温泉入浴者など利用者数について月事に差があり、少ない時期に誘客を行うことができれば施設管理者にとって更なる収入となる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本施設は自然探索や温泉入浴、キャンプ体験など1年を通じて多くの方に親しまれており、廃止をすれば大きな影響が予想される。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度で運営を委託しており、事業費の削減は事業の運営に支障をきたすことが考えられる。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費を含めて指定管理委託料の中で事業を行っており削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安全面などのルールを守れば利用制限などはなく、だれでも利用できる施設であるため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	引き続き国民休養地施設の運営を続けていく。多くの方に利用いただいている本施設を維持管理し続けることで牧園町高千穂地区の観光拠点として発信していく。また施設管理者とも協力し、自主事業などを通して利用者増の取り組みを図っていく。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	引き続き国民休養地施設の運営を続けていく。多くの方に利用いただいている本施設を維持管理し続けることで牧園町高千穂地区の観光拠点として発信していく。また施設管理者とも協力し、自主事業などを通して利用者増の取り組みを図っていく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1)事務事業の改革改善方向性									
(2)総評									

事務事業 コード	0107010503030306	事務 事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)	平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1 報 酬			
2 給 料			
3 職 員 手 当 等			
4 共 済 費			
5 災 害 補 償 費			
7 賃 金			
8 報 償 費			
9 旅 費			
10 交 際 費			
11 需 用 費	799	1,600	1,600
消 耗 品 費			
燃 料 費			
食 糧 費			
印 刷 製 本 費			
光 熱 水 費			
修 繕 料	799	1,600	1,600
賄 材 料 費			
飼 料 費			
医 薬 材 料 費			
12 役 務 費	101	107	107
通 信 運 搬 費			
広 告 料			
手 数 料			
保 険 料	101	107	107
13 委 託 料	250	180	180
14 使用料及び賃借料	418	419	419
15 工 事 請 負 費			
16 原 材 料 費			
17 公 有 財 産 購 入 費			
18 備 品 購 入 費			
19 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金			
20 扶 助 費			
21 貸 付 金			
22 補 償 補 填 及 び 賠 償 金			
23 償 還 金 利 子 及 び 割 引 料			
24 投 資 及 び 出 資 金			
25 積 立 金			
26 寄 附 金			
27 公 課 費			
28 繰 出 金			
計	1,568	2,306	2,306
財源内訳	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	そ の 他	0	0
	一 般 財 源	1,568	2,306
計	1,568	2,306	2,306
補助率	国		
	県		
補助基本額			

平成26年度補正・流用状況

当初予算	1,570
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	1,570

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030307	事務事業名	乗馬施設管理運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島高原国民休養地設置及び管理に関する条例、霧島高原国民休養地運営審議会規則	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

【施設の概要】
乗馬施設(牧園町)は、昭和47年に開設し、野外レクリエーション施設で、敷地面積は15,835㎡で、本馬場、覆馬場、補助馬場、放牧場、クラブハウスの施設があります。営業時間は、午前9時～午後5時。休館日は水曜日(その日が祝日の場合はその翌日)

【指定管理者】
霧島愛馬会 指定管理期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 指定施設数	施設	1	1	1	1	1
イ 指定管理者による自主事業実施数	件	27	27	27	28	29
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,118,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 多くの方に施設に来てもらう	施設利用者数	人	3,762	4,534	4,897	5,200	5,600
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア もう一度行ってみたい温泉地ランキング	じゃらん実施のアンケート	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島高原の自然の中を、爽やかな空気を吸いながら乗馬ができる本施設は経験豊富なスタッフも在籍しており、初心者から経験者までが乗馬を体験できる。また天候に左右されない全天候型室内馬場も完備している。
本施設は2020年の鹿児島県馬術の会場に指定されていることから今後整備などが必要となる。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			1,736	5,607	5,607
		事業費	千円	0	0	1,736	5,607	5,607
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

【指定管理料実績】 乗馬クラブ指定管理料 1,029,000円	適切な維持管理や馬により安心、安全、快適に利用できる公園として機能が確保できた。
------------------------------------	--

事務事業コード	0107010503030307	事務事業名	乗馬施設管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	施設利用者の方により多く本施設に来ていただくことが
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の所有物である本施設の管理を、市が行うのは当然である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	専門誌への情報掲載や、誘客事業など、従来とは異なる地区、年齢層へ新しい方法で乗馬体験の周知を図るなど誘客については向上余地がある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	本市で唯一の乗馬施設であり、廃止をすることは利用者はもちろん、観光地霧島としても影響は大きい。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者制度で運営を委託しており、事業費の削減は事業の運営に支障をきたすことが考えられる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	人件費を含めて指定管理委託料の中で事業を行っており削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	一部の人を対象とした事業でなく、安全面(身長120cm以上)を満たせば乗馬体験ができるようにしてあり公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	引き続き乗馬施設の運営を続けていく。安全面を第一にスタッフへの教育を徹底し、安心安全な乗馬体験を提供する。また更なる誘客を目指して広報活動など従来ではあまりしてこなかった取り組みを行う必要もある。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	引き続き乗馬施設の運営を続けていく。安全面を第一にスタッフへの教育を徹底し、安心安全な乗馬体験を提供する。また更なる誘客を目指して広報活動など従来ではあまりしてこなかった取り組みを行う必要もある。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030307	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRG		
施策名	03	観光業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2611		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島市補助金交付規則・霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島温泉旅館協会とは、温泉地の観光客誘致を目的として設立した団体。(牧園 丸尾地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。)(市の活動)
 霧島温泉地区を訪れた観光客の受入のため、夏の観光宣伝、霧島国際音楽祭にあわせロビーコンサートの実施など霧島温泉旅館協会が行っている事業に対し入湯税の還元として補助金を支給している。
 補助金申請受付→補助金確定通知→補助金請求→補助金交付
 (団体の活動)
 霧島温泉地区に誘客を行うために各種宣伝活動(九面太鼓演奏、チラシ配布等)、イベント活動(きりしま郷土芸能の夕べ等)を実施した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	11	11	11	11	11
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	1	2	1	5	5
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客数	観光客数	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	7,959,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	37	26	26	30	30
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島温泉地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に昭和40年代から開始された。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,710	1,439	1,630	1,638
		事業費	千円	1,710	1,439	1,630	1,638
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 霧島温泉旅館協会ロビーコンサート ○回 広告宣伝事業(パンフレット作成)1種類 霧島温泉感謝祭り きりしま郷土芸能の夕べ 9回 	市内4施設においてロビーコンサートを実施し、名の来場者があり、観光客へのおもてなしを行った。また、作成したパンフレットを活用し、アウトドアショップセールス等の観光宣伝を行い、本市への観光客誘致を行った。その他、郷土芸能の夕べや、温泉感謝祭り等の自主事業を展開し、霧島を訪れる観光客へのおもてなしを行った。

事務事業コード	0107010403030307	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島温泉旅館協会に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで丸尾地区をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついていない。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるためである。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 日当山温泉旅館組合 他 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・連携 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	国内からの観光客が減少しているため、海外で観光宣伝等を行い海外からの観光客の誘客を図る。また、霧島の温泉PRのため、新ゆ旅事業をいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等で協議し、作り上げ新しい観光客を呼びこむ。昨年に引き続き観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	国内からの観光客が減少しているため、海外で観光宣伝等を行い海外からの観光客の誘客を図り、また、観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続 <input type="checkbox"/> やり方改善 <input type="checkbox"/> コスト拡充 <input type="checkbox"/> コスト縮小 <input type="checkbox"/> 連携 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/>
(2) 総評	

事務事業コード	0107010403030307	事務事業名	霧島温泉旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	1,630	1,638	1,638
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		1,630	1,638	1,638
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
一般財源	1,630	1,638	1,638	
計		1,630	1,638	1,638
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	1,630
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	1,630

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030308	事務事業名	小浜海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ			
施策名	03	観光業の振興		電話番号			
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号			
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

小浜海水浴場は錦江湾の湾奥部に位置し、桜島を望みながら、泳ぐことができる、遠浅で水質の良い海岸です。更衣室、シャワー室、休憩室などが完備されており、市内外からの海水浴客を受け入れています。管理については平成25年度までは地元の小浜地区自治公民館に委託しておりましたが、平成26年度からは警備を含めた管理運営を警備会社に委託しています。営業は毎年「海の日」の7月21日から8月31日まで。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 開館日数	日	42	42	42	42	42
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客 (宿泊+日帰り)	人	7,367,062	7,715,418	7,538,991	7,959,000	8,116,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう。	施設利用者数	人	5,501	6,986	5,188	5,500	5,800
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

海水浴場の管理運営については平成25年度まで地元の小浜地区自治公民館に委託していましたが、平成26年度からは警備会社へ委託しています。利用者からは景観もよく水質もよいとの声があります。議会からの意見はありません。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			2,518	2,744	2,744
		事業費	千円	0	0	2,518	2,744	2,744
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
海水浴場の砂浜の除石作業を実施。管理運営は平成26年度から警備会社に委託し、これまで以上に安全面への配慮等を行い、利用者の利便性の向上を図りました。 海水浴場除石作業委託 357千円 海水浴場管理事務委託料 800千円 海水浴場水難事故防止警備業務委託料 1,089千円	海水浴場の管理、水難事故防止警備業務を警備会社に委託し、台風や悪天候、海の流木等による海水浴の危険性をいち早く判断し、速やかな対応するなど適切に管理した。

事務事業コード	0107010503030308	事務事業名	小浜海水浴場管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	広報することにより、利用者数が増加する可能性がある。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	防犯面から脱衣室、トイレなどの施錠をすることにより利用者に不便をかけ、警備員もいなくなるため安全に海水浴を楽しむことができなくなる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	なし
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	砂浜の除石作業や海水浴場の管理運営、水難事故防止業務など最低限の費用であり削減できない。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも使用できる施設であり、公平・公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	海水浴場の砂浜の除石作業や管理運営、水難事故防止警備業務を行い、快適な観光施設の運営に取り組みます。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	海水浴場の砂浜の除石作業や管理運営、水難事故防止警備業務を行い、快適な観光施設の運営に取り組みます。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0107010403030308	事務事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部	
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課	
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG	
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	07 商工費			根拠法令・条例等 霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	項	01 商工費				
	目	04 観光費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島神宮温泉郷旅館協会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動)霧島神宮温泉郷旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。
 (各旅館協会の活動)霧島神宮温泉地区を訪れた観光客の受入れのための事業を行う。(パンフレット作成、クーポンの発券等)※霧島神宮温泉郷旅館協会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。霧島神宮周辺の宿泊施設を会員として運営されている団体である。
 (団体の活動)
 霧島神宮温泉地区への誘客を行うため、宣伝事業としてパンフレット、温泉クーポンを作成した。また、イベント事業としてグランドゴルフ大会等を実施した。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 誘客対策事業(自主事業等)の実施回数	回	11	11	13	14	14
イ 誘客対策事業(チラシ等作成)の実施回数	回	1	1	1	1	1
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島市を訪れた観光客	観光客数	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	7,959,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島を観光してもらおう	事業の実施件数	件	12	12	13	14	14
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和25年には国立公園観光協会ができており、下部組織として旅館協会が存在していた。霧島神宮周辺の観光振興を図ることを目的にこの事務事業開始された。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	602	450	533	568	568
	事業費	千円	602	450	533	568	568

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 霧島山合同ハトロール(6月30日) 霧島神宮献灯祭(8月5日) ふるさと霧島夏祭(8月10日) 天孫降臨霧島祭(8月31日) 霧島市観光宣伝(宮崎駅:11月1日～2日) 霧島市観光宣伝(鹿児島中央駅:11月24日) 霧島温泉感謝祭(1月26日) 国道223号線清掃(2月23日) 龍馬ハネムーンウォーク(3月21日) 	ふるさと霧島夏祭や、天孫降臨霧島祭、温泉感謝祭において、来場者のおもてなしを行った。また、パンフレットを用いて、アウトドアショップセールスや、各種イベント等での観光宣伝を行い、霧島市への観光客誘致を行った。

事務事業コード	0107010403030308	事務事業名	霧島神宮温泉郷旅館協会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島神宮温泉郷旅館協会に対する運営補助金は、観光宣伝等の観光客誘致宣伝活動を実施することで霧島神宮温泉郷をより知ってもらい、霧島市へ訪れてもらうことを目的としているため、現在の基本事業の意図とは結びついていない。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、来訪者をもてなす受け皿をつくるため、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等を行い、受入環境を整備する必要があるので妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市内に存在する5つの旅館協会が連携すれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になる。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	霧島市の観光振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客が減少し影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合 霧島温泉旅館協会運営支援事業等、他旅館協会への補助事業 観光協会や各旅館協会等と連携した事業を既に行っている。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入湯税の配分率に応じた補助事業であり、市の負担は削減できない。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員は補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	旅館協会は市からの補助金だけではなく会費も徴収し運営がなされているので公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・連携 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○				○		
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	観光協会やいざ霧島キャンペーン実行委員会、各旅館協会等との連携を強化し、より効果的な観光宣伝活動を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続 <input type="checkbox"/> やり方改善 <input type="checkbox"/> コスト拡充 <input type="checkbox"/> コスト縮小 <input type="checkbox"/> 連携 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/>
(2) 総評	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030309	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく登山者が不便なため、平成17年度から毎週土日に霧島神宮駅から霧島神宮、高千穂河原を経由してえびの高原まで2往復バスを運行していたが、平成23年3月12日以降からは九州新幹線全線開業に伴い、利用者の利便性の向上のため毎日運行している。平成25年5月に登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾を拠点としてダイヤ変更を行った。
 【委託先】いわさきバスネットワーク(株)
 【バス停】丸尾～えびの高原～高千穂河原～丸尾
 【料金】丸尾→えびの高原(410円)→高千穂河原(740円)→丸尾(1,000円)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 延べ運行便数	便	1,040	1,452	1,436	1,460	1,460
イ 運行日数	日	260	363	359	365	365
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 霧島山の登山者	霧島山の登山者数(韓国岳、高千穂峰、大浪池)	人	58,171	99,347	64,208	90,000	95,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 2次交通アクセスが確保する	霧島連山バスの利用者数	人	2,548	3,973	4,046	5,000	5,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく、登山者が不便であったために開始された。新幹線全線開業を受け二次交通アクセス網の確立のためこれまで、土日(5月のみ毎日)のみの運行であったが、平成23年3月12日からは毎日運行し、霧島神宮駅～霧島神宮～高千穂河原ビジターセンター～新湯交差点～大浪池～えびの高原の路線で運行した。平成25年5月から、登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾～えびの高原～高千穂河原ビジターセンター～丸尾の路線を運行している。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,125	7,480	7,962	9,000	9,000
事業費		千円	8,125	7,480	7,962	9,000	9,000
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成25年5月に登山者及び他のバス路線の現状を踏まえ、丸尾を拠点としてダイヤを丸尾～えびの高原～高千穂河原ビジターセンター～丸尾としたが、平成26年度も利用者状況を踏まえ、引き続き同様のダイヤで運行を行った。 1日4便 年間利用者数は4,046人	平成26年度中は霧島山の一部分が入山規制されたにも係らず、平成25年度に実施したダイヤ改正によりバス利用者数が微増した。

事務事業コード	0107010403030309	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島山の登山者の2次交通アクセスを確保することで、来訪者をもてなす受け皿ができる。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	現在の火山活動状況や他の交通網を考慮して、新たなルート、利用者の利便性に合わせたルートなど検討することで、向上の余地はある。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光客の霧島山への交通手段がなくなる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	コミュニティーバス運営事業、妙見温泉バス運行事業
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用者のニーズに合わせ、運行計画の変更等を行うことで、運賃収入が増え、事業費の削減が図られる。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・コスト縮小 >								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	登山者(入山規制の山への登山者)のニーズに合わせた走行ルートを拡幅すれば成果の向上が見込まれる。また、旅行エージェント等と連携して乗客が増えればコスト削減が図れる。入山規制の山があるため、登山者に合わせた走行ルートを拡幅することで登山者数の増加が見込まれる。また、霧島エリアを路線バスで周遊できる切符、霧島「のっとりおりたりマイプラン」バス1日乗車券(大人1,100円、子ども半額)の商品紹介やバス路線バスの紹介などを旅行エージェントに積極的に紹介することで、乗客の増加を目指し、コスト削減に努める。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	平成27年度において実施する2次アクセスの実態調査を踏まえ、えびの高原や高千穂河原を訪問しやすい走行ルートの再考を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030309	事務事業名	道の駅管理運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 6 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	「道の駅」登録・案内要綱	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	特になし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

道の駅「霧島」は、霧島市霧島山口字霧島山2583-8に位置し、霧島錦江湾国立公園の霧島地区を周回している国道223号に面しており、標高500mほどの高台にある。駐車場、野外トイレ、遊歩道及び人口滝を有する道の駅の維持管理運営を委託している。
 【委託先】霧島神話の里公園株式会社
 【委託料】2,400,000円
 【委託業務内容】施設の維持管理及び施設周辺の清掃 九州・沖縄道の駅連絡会議・イベント等への参加、維持管理をする上で必要な会計事務

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 開館日数	日	365	365	365	366	365
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 道の駅利用者	道の駅利用者数	人	350,287	397,818	391,503	400,000	400,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 整備・清掃が整った施設を安心して利用できる。	道の駅に関する要望件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国土交通省より、国道223号の道の駅として平成6年4月26日に登録、指定された。道の駅の休憩ステーション及び情報発信拠点施設として定着してきている。宮崎、鹿児島を結ぶ主要道の県境周辺に設置されていることで、トイレや昼食等ができることで喜ばれている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,400	2,400	2,469	2,592
		事業費	千円	2,400	2,400	2,469	2,592
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
【施設管理者】 施設の維持管理 お客様への対応 【行政】 指定管理料支払(年額2,400,000円)	施設の利用者の満足度に繋がりが、大きな事故も起きなかった。また、施設の故障や不備による営業停止もなかった。

事務事業 コード	0107010503030309	事務 事業名	道の駅管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ ■ 結びついている □ 間接的に結びついている □ 結びついていない	道の駅利用者が整備・清掃が整った施設を安心して利用でき、来訪者をもてなす受け皿となっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ ■ 妥当である □ 見直す必要がある	市は、霧島市を訪れる観光客の利用する施設を整備する必要があるためである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ □ 向上する余地はかなりある ■ 向上する余地はある程度ある □ 向上する余地はほとんどない	施設は、現状においても定期的に点検、整備、清掃されているが、維持管理等は常に迅速な対応なども追及すべきであり、向上の余地があるといえる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ ■ 影響がある □ 影響がほとんどない	利用客が安心して施設を利用できるように、徹底した維持管理をすることは重要であり、維持管理の行き届かない施設があることは霧島市のイメージダウンに繋がるため廃止・休止の影響がある。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) ■ 類似の事業はない □ 類似の事業はあるが、統合又は連携できない □ 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 道の駅の維持管理をする事業は他にはない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	市は、委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ ■ 削減できない □ 削減できる	市は、委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ ■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	トイレや道路情報の案内など24時間誰でも利用できることが「道の駅」登録・案内要綱に基づく、道の駅の条件であり公平・公正さは確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続 >						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2) 平成27年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	受託者である霧島神話の里公園(株)と密に連絡をとりながら、適宜修繕等を行い、利用者のニーズにある施設づくりを行う。							
(3) 平成28年度の方向性・取組目標	受託者である霧島神話の里公園(株)と密に連絡をとりながら、適宜修繕等を行い、利用者のニーズにある施設づくりを行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続 〇
(2) 総評	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030310	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりグループ		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	64-0895		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	なし		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

市は、「花は霧島・たばこは国分」と民謡にあるように、花に彩られた霧島を演出し、美しい観光霧島のイメージ定着化を図るため、霧島ロイヤルホテルと国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等(157㌔)を利用してそれぞれの場所のイメージに合った花(チュウリップ、コスモス、菜の花等)を植栽している。
 花の植栽や維持管理については、シルバー人材センター等に委託している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 作業にかかった人員	人	30	30	28	30	30
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	観光統計	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,118,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 花の植栽による景観形成により霧島市に魅力を感じてもらおう。	苦情件数	件	0	0	0	0	0
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成3年に開設した上野原縄文の森の残地(市有地)に花を植えることによって、観光客など訪れる人に癒しを与えることを目的に開始された。また、国民休養地周辺・農大跡地・霧島温泉駅等については平成15年から開始された。
 花を植えて景観を整えていることで、人々が集まり憩いの場として定着しつつある。
 特に意見などはないが、好意的に受け入れられているように感じる。
 市民や議会などからの意見等は特になし。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	132	200	200	200	200
	事業費	千円	132	200	200	200	200
投資量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
・霧島地区へのもみじの植栽及び管理。 除草作業費 153千円 ・霧島高原国民休養地植栽地の除草及び花壇管理。 除草作業費 47千円	観光客が多く訪れる場所、よく目に止まる場所に花などを植栽することで、霧島市を景観の美しい観光都市として印象づけることができ、リピーターの増加に寄与している。

事務事業コード	0107010403030310	事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に花の植栽による景観形成によって霧島市に魅力を感じてもらえるようにし、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光施設の整備、景観形成等、観光客を受け入れる体制を整える必要があるので妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	維持管理を徹底し、また広く周知することで、観光客数も増加につながり、成果の向上が更に図られる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	観光施設や観光沿線が花がなく荒地の状態だと、観光客に悪い印象を与えてしまうので廃止はできない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 植栽や除草の定期的な維持管理によって、観光地周辺を美しく形成し、観光客をもてなす受け皿をつくる事業は他に類似の事業がない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	長持ちのする花、手入れのしやすく見栄えの良い花などを植栽する等、植栽する植物を工夫することで事業費の削減の余地がある。また、現在委託をしているが地元の高校生やボランティアなどに管理を任せることで、事業費の削減の余地がある。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	維持管理をすべて外部へ委託しているので、削減余地がない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	老若男女問わず、誰もが見学でき、また憩いの場として利用できる。また観光地の沿線の荒れている原野の整備にもつながり公平である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	事業を継続する中で、これまで以上に「花は霧島」を印象付けるような植栽のあり方を検討し、観光地に来られた方の目の保養となるような植栽地づくりに努める。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	地元の学生やボランティア団体なども連携し、植栽づくりに努めるなど、より地域の方々と一緒に事業遂行を目指す。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010503030310	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光地づくりグループ		
施策名	03	観光業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2615		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市塩浸温泉龍馬公園は自然環境及び歴史的風土を活かした公園施設を効率的に活用することにより、観光及び産業の振興並びに地域活性化を図るための施設である。
 ■敷地面積 4097.88㎡ ■施設概要 公園、資料館、温泉棟、足湯、記念碑、トイレ、橋梁、駐車場

平成26年度は特定非営利法人薩摩龍馬会が指定管理者として管理している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 開園数	日	363	363	363	364	363
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客	霧島市を訪れる観光客(宿泊+日帰り)	人	7,367,062	7,715,418	7,568,596	7,959,000	8,116,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 施設を利用してもらう	施設利用者数	人	184,800	191,710	170,780	177,600	184,700
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和44年に牧園町営温泉センターとして開館し、平成22年度に現在の公園としてリニューアルオープンした。その後、手すり設置工事、平成23年度は貯水槽設置、温泉棟改修、源泉改修を行った。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0
		県支出金	千円			0	0	0
		地方債	千円			0	0	0
		その他	千円			0	0	0
		一般財源	千円			11,402	9,726	9,726
		事業費	千円	0	0	11,402	9,726	9,726
投入量								

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

【塩浸温泉龍馬公園指定管理委託料】 11,314,285円	指定管理者による適正な管理がなされた。また、積極的に自主事業を行うことで、観光振興及び地域活性化に寄与した。
----------------------------------	--

事務事業コード	0107010503030310	事務事業名	塩浸温泉龍馬公園管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	観光客に施設を利用してもらうことで、来訪者をもてなす受け皿ができる。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市の施設であるので、妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	指定管理者の自主事業等により、利用者数が増加する可能性がある。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	施設の利用が出来なくなる。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	なし
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	利用料金制(施設利用の料金が指定管理者の収入となる制度)を採用しているため、料金収入が向上すれば、指定管理者への委託料を削減できる。	
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	指定管理委託料に最低限の賃金を含んでおり、また、市職員についても、委託料交付、施設修繕等の最低限の事務を行っており、削減できない。	
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも使用できる施設で、温泉等は利用者から利用料金を徴収しているため、公平・公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	市と指定管理者が連携し来園者増加と満足度向上に向けた取り組みを続ける。また、団体客の獲得のため情報発信の工夫をしていく。 龍馬公園前の石坂川護岸遊歩道整備に伴い、遊歩道にある岩風呂への温泉引き込みを行う。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	市と指定管理者が連携して来園者増加と満足度向上を目指す。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○						
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	010701040303031	事務事業名	霧島市花火大会開催支援事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PRグループ		
施策名	03	観光業の振興		電話番号	64-0895		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		内線番号	2612		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

合併前に各地で行われていた花火大会を統合し、市政3周年(平成20年度)、市政5周年(平成22年度)、市政7周年(平成24年度)と、これまで隔年置きに花火大会を開催しており、平成25年度から毎年開催することとしている。平成26年度においても、花火大会を開催する霧島市花火大会実行委員会へ補助金を交付し開催支援を行う。

花火大会を企画運営する実行委員会(事務局:霧島商工会議所)に対し、市は補助金交付に関する手続きを処理する。(申請受付、決定、補助金交付、実績確認、精算確定)また、花火大会を共催し、花火大会実行委員会の一員として、事務局と各種業務を連携して実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 花火大会に訪れた人数	人	30,000	0	20,000	30,000	30,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	霧島市の人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 花火大会に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識できる	花火大会に訪れた人数	人	30,000	0	20,000	30,000	30,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

合併前に各地で行われていた花火大会を統合し、市政3周年(平成20年度)、市政5周年(平成22年度)、市政7周年(平成24年度)と、これまで隔年置きに花火大会を開催していたが、毎年花火大会を開催してほしいという要望を受け、平成25年度より毎年花火大会を開催することとしている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	12,000	4,924	11,520	14,000	11,520
	事業費	千円	12,000	4,924	11,520	14,000	11,520
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成26年度は、10月4日(土)に、花火4,000発と音とレーザー組み合わせて開催。	初めての試みとして、花火4,000発と音とレーザーによるハーモニーさせることで例年になく盛大に実施できた。

事務事業コード	0107010403030311	事務事業名	霧島市花火大会開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民が、花火大会に訪れることにより、霧島市の魅力を再認識でき、観光に活用できる商品の開発に繋がる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、県内外からの観光客を誘致する観光素材となるため妥当である。 市民がイベントに出向くことで経済需要の喚起につながる。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	花火大会会場である国分キャンプ海水浴場の周辺施設等を合わせた収容可能人数を30,000人としており、それ以上の観客数は観客や運営スタッフの安全を考慮すると難しいが、開催日の天候が悪くても同観客数が訪れるような開催告知、内容にすることは必要である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民をはじめ県内外の方が楽しみにしている同花火大会を中止することは、市民の一体感の阻害や開催に伴い期待される経済効果の喪失に繋がる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	企業や個人へのあらゆる方法で協賛を行い実行委員会の収入を増やし、事業費への充当や補助金の削除をすることができる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	事務局は霧島商工会議所が担っており、開催に伴う各種手続き、準備を主体的に行って頂いている。市は補助金交付手続きと共催としての役割を担っているに過ぎず、これ以上人件費を削減することは出来ない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	誰でも花火大会を見ることが出来るため、公平性は確保されている。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成26年度においては、実行委員会において、H27年の開催時期と開催場所を明確に定めたが、毎年固定の週日の開催を決するまでには至らなかった為、毎年固定の週日を明確に定め、宿泊を伴う観客の獲得につなげることとする。							
(3)平成28年度の方角性・取組目標	平成28年度は、固定の週日が定まっていると予想されるため、各種情報媒体、口コミ等で長期的に告知を行い、旅行会社による旅行ツアーの販売や個人観光客の旅行目的になるような花火大会の開催を目指す。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030312	事務事業名	妙見路線バス運行事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光地づくりG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	なし	
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

これまで、妙見温泉振興会が運行していた妙見温泉バスを新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の拡充を図るため平成23年3月12日から市内民間バスの運行しているいわさきバスネットワークに委託して運行している。
 このことで、市内を走るいわさきバスを利用できる観光客にお得な一日乗車券の発行ができた。
 【委託先】いわさきバスネットワーク(株)
 【バス停】隼人駅→鹿児島神宮→妙見温泉→嘉例川駅→鹿児島空港
 【料金】 (130円) (330円) (510円) (630円)

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 延べ運行便数	便	4,015	4,015	4,015	4,015	4,015
イ 運行日数	日	365	365	365	365	365
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 空港等を利用する観光客	空港利用者数	千人	4,783	5,113	5,172	5,223	5,275
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 2次交通アクセスを確保できる	妙見路線バス利用者数	人	5,469	6,374	6,497	8,000	8,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成14年度より鹿児島空港、隼人駅、嘉例川駅からの交通アクセスがなく、観光客が不便であったために開始された。これまでは、妙見温泉振興会の妙見温泉バスを運行していたが、新幹線全線開業に伴い、二次交通アクセス網の確立のため市の意向により、市の委託事業として、いわさきバスによる運行している。このことで、市内のいわさきバスを利用する一日乗車券の発行ができた。利用者や旅館等の組合等より停留所を増やしてほしいという意見がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,703	11,493	11,776	12,228	12,228
事業費		千円	11,703	11,493	11,776	12,228	12,228
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
平成25年5月1日より嘉例川駅バス停を利用者の利便性の向上のため、同駅駐車場から同駅構内に変更したが、平成26年度も引き続き駅構内とした。 1日11便 利用者数 6,497人	これまでの取り組みにより前年度に比べ、バス利用者が増加した。

事務事業コード	0107010403030312	事務事業名	妙見路線バス運行事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	空港等を利用する観光客の2次交通アクセスを確保することで、来訪者をもてなす受け皿ができる。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、観光関連従事者の資質向上や観光施設の整備等の観光客を受け入れる体制を整える必要があるのが妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	乗車人員が上がれば運賃収入額も増え、財政健全化も図られる。しかしながら、今後も利用客のニーズに合うような対策を講ずる必要もあり、新たな路線の新設など成果の向上余地はある。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	空港や嘉例川駅から妙見への移動手段がなくなり、来訪者の利便性が図られない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 コミュニティバス運営事業、霧島連山周遊バス運行事業 対象・意図が違うので統合できない。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	利用者のニーズに合わせて、運行計画の変更等を行うことで、運賃収入が増え、事業費の削減が図られる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	バス利用者からは乗車賃を徴収しており、公平公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善・コスト縮小 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○		○			
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	霧島市単独の委託事業であるので、近隣市町も含めた広域的な運行業務や路線の拡大ができないか検討する。また、全国的にも有名な嘉例川駅や国民保養温泉地でもある妙見・安楽温泉があり、鹿児島空港と結ばれていることをPRしたり、旅行エージェントと連携したりすることで乗客の増を図り、コストの低減に取り組む。							
(3)平成28年度の方方向性・取組目標	平成27年度において実施する2次アクセスの実態調査を踏まえ、えびの高原や高千穂河原を訪問しやすい走行ルートの再考を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)																	
(1)事務事業の改革改善方向性	<table border="1"> <tr> <th>継続</th> <th>やり方改善</th> <th>コスト拡充</th> <th>コスト縮小</th> <th>連携</th> <th>統合</th> <th>休止</th> <th>廃止</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止								
継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止										
(2)総評																	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030013	事務事業名	空港PRブース管理運営事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	03	観光客の受入体制充実		電話番号	0995-45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

鹿児島空港40周年を記念し、多様な集客機能と情報発信機能を持つ空港ビルにおいて、平成24年10月1日より広く霧島市の観光や特産品等をPRするとともに、観光客等に対して安心して旅のできる「おもてなし」の充実を図る。

【主な委託業務】委託先:公益社団法人 霧島市観光協会
 スタッフの雇用及び育成・運営企画・観光案内・問い合わせ対応・特産品提供によるPR・各種イベント等情報提供

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 空港利用者・旅行者	千人	4,783	5,113	5,172	5,000	5,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 空港利用者・旅行者	鹿児島空港延べ利用者数	千人	4,783	5,113	5,172	5,000	5,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 空港で霧島市の最新情報を手軽に入手することができる。	案内した人数	人	41,394	97,827	139,276	100,000	100,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 来訪者をもてなす受け皿ができる。	もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	14	16	15	12	11
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

鹿児島空港開港40周年を記念し、鹿児島空港ビルディング(株)から同ビル内の1階ロビーに、公共的機関による観光PRブースを設置する計画があり、鹿児島県観光連盟、鹿児島県特産品協会及び霧島市へ出展案内があった。鹿児島空港は年間約500万人の航空機利用者に加え、送迎者や従事者も多数いることから、広く県内外の方に霧島市の観光情報提供や特産品等をPRする絶好の場と機会を得ることができるとして出展を実施することとした。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	17,663	17,183	17,000	17,000
	事業費	千円	0	17,663	17,183	17,000	17,000

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
観光や特産品のPRは、テレビやラジオなどの活用、パンフレットやポスターの作成、各種キャンペーンなどを中心に行われているが、年間500万人の利用客がある鹿児島空港において常時情報を提供することで、観光客誘客だけでなく、特産品等のPRに大きく繋がる。 また、旅行の形態が個人や小団体に移行する傾向があり、現地でのおもてなしや最新の様々な情報を入手できる体制が整っていることが求められる。 平成26年度の接客実績は、観光案内ブース113,192人、お茶ブース20,295人。	観光PRブースを訪れる観光客に対して、霧島市の情報を提供したり、霧島市の特産品をふるまい、おもてなしを行うことで、霧島市の知名度向上に努めた。 さらに、黒酢・ブルーベリー・梨・霧島茶の特別キャンペーンを行い、特産品をPRすることが出来た。

事務事業コード	0107010403030313	事務事業名	空港PRブース管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	霧島市空港PRブースで、鹿児島空港利用者に対して、霧島市の最新の観光情報を提供や特産品であるお茶の振る舞いを行うことにより、霧島市の知名度向上につながることも霧島市を訪れる観光客をもてなす受け皿作りに結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	年間500万人以上の航空機利用客を有する鹿児島空港所在地としての優位性を生かし、観光や特産品のPRを積極的に行うことで、観光振興による雇用、税収の確保につながるものである。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	霧島市のPRブースであることをより強調することで、PR効果を高めることができるが、設置者である鹿児島空港ビルディングとの協議が必要である。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市の観光案内を担っており、廃止によって事業規模を縮小すると、観光客への情報提供や受入体制が大幅に悪化することになる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等 観光案内所管理運営事業・市観光協会活動支援事業
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	委託事業内容の件数については最低人数でローテーションを調整しているため削減できない。 PR事業については、特産品の提供などにより事業費を削減できる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の新たな配置、人件費の増加を既に抑制した。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	様々な霧島市の情報を広く提供するものであり、一部の受益者に負担を求めるものではないため公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○						
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	季節に応じた旬な情報の提供 茶生産者や黒酢組合などと連携した特産品PR 観光パネルを活用した情報の発信							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	これまでの経過を踏まえ、より充実した案内とおもてなしと共に業務体制のあり方について検討を行う。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010403030403	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		担当課	観光課		
施策名	03	観光業の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	04	海外からの観光客の誘致		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 23 年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市観光基本計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

海外誘客と航空機利用促進を図るため、鹿児島県や鹿児島県観光連盟、市内観光関係団体、宿泊施設と連携し、外国人観光客の誘客促進活動を行う。

【誘客事業】

- ・アジアを中心とした現地セールス、旅行説明の実施
- ・航空機を利用し、市内に宿泊する海外からの旅行者を対象に、市内宿泊施設を通じてノベルティ(特産品)の配布を行う。

【受入体制】

ツアー商品等造成のための旅行エージェント(旅行会社)との商談会による情報提供、現地視察案内、ツアー企画の協力支援。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 海外誘致セールス回数	件	1	2	3	3	4
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 外国人 (定期航空路線就航地を主とする)	鹿児島空港国際線定期便就航路線	路線	3	4	4	4	4
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市の情報を知る	海外誘致セールス回数	件	1	2	3	3	4
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう	外国人宿泊観光客数	人	52,459	75,335	88,063	100,000	100,000
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

国内観光客の需要が減少する中で、海外からの観光客誘客が今後の観光振興、経済浮揚の重要な施策となるとして、国の施策や観光動向分析結果などをもとに平成23年度から実施した。新燃岳噴火やコロナの影響により、激減していた海外観光客が、中国経済の発展・台北線就航等により、アジアからの観光客を中心に徐々に増加。
国の平成25年の訪日外国人客数は初めて1000万人を超え、平成32年には1億2000万人の高みを目指している。宿泊施設から市の主体的な取り組みによる海外観光客誘客事業の実施を要望。
議会から、空港所在地として、航空機利用対策にも取り組むべきである。との声がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,773	4,823	5,229	4,981
		事業費	千円	4,773	4,823	5,229	4,981
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県や鹿児島県観光連盟、民間企業と連携した海外セールスの実施(3回:香港・台湾・韓国) ・鹿児島空港利用促進ウェルカム霧島おもてなし事業の実施 ・鹿児島空港を利用して霧島市内に宿泊した外国人観光客を対象としたノベルティ(関平鉱泉水500mlペットボトル、黒酢キャンディー)の配布 <p>実績→平成24年度:20,528件 平成25年度:24,702件 平成26年度:24,992件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行エージェントとの商談会による情報提供 ・海外雑誌記者等の現地視察案内・ツアー企画の協力支援 	<p>鹿児島県や鹿児島県観光連盟、民間企業と連携して海外セールスや海外旅行エージェントへの商談会等を行い、霧島市の観光情報発信を行うことで、霧島市の知名度向上に努めた。</p> <p>また、ウェルカム霧島おもてなし事業によるお客様満足度の向上に努めた。</p>

事務事業コード	0107010403030403	事務事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	鹿児島空港に定期航空路線を持つ地域を中心として、霧島市の観光情報を発信することは、霧島市での外国人観光客増加に結び付いている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	外国人宿泊者が増加し交流人口が増加することは、地域活性化の一助となり、市の税収増加につながるため、妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	単なる現地セールスだけでなく、霧島の伝統芸能や食などを絡めた効果的で印象的なプロモーションを実施することで、海外における霧島市のイメージアップに繋がり、訪日外国人客の増加に繋がる。 また、現地キーパーソンとの関係強化を図り、国や県、周辺市町村と連携した事業を行うことで、霧島市の情報を現地において得る機会を増やすことが出来る。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	海外における霧島市の情報発信の機会が少なくなり、宿泊者数の減少により観光業界の収入が減少する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 YOKOSO! KAGOSHIMA事業 デジタルジャパン地方連携事業 等 国や県が実施している類似の事業と結合することはできないが、国県や周辺市町、市内宿泊施設や観光施設との連携は可能である。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	現在実施しているウエルカム霧島事業(鹿児島空港を利用する外国人宿泊客への特産品プレゼント事業)を見直すことで事業費の削減につながるが、外国人誘客は市の重要な観光施策となっており、知名度向上への対策や案内板、インターネット環境などの受け入れ態勢充実など更なる事業費の拡大が求められている。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	職員の事務としては、情報提供、現地セールス、霧島市における受入対応の必要最低限の事務であり削減できない。むしろ、人口減少時代を迎える地域にとって海外からの誘客拡大は欠かせないことから、一層の強化が求められている。また、旅行エージェンツの視察、商談会等については、既に関係機関の協力のもと実施しており、委託業務とすると更なる事業費の拡大につながる。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	一部の事業者等を対象としているものではない。 なお、ノベルティ(特産品)の配布については、鹿児島空港利用者で、市内に宿泊している全外国人旅行者を対象に配布しているため受益機会公平である。外国人旅行者へ負担を求めるものでもない。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善・連携 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○					
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	引き続き、国・県・周辺自治体と連携した効果的なプロモーションを実施していく。特に本市の地理的優位性を活かせる東アジアの定期便就航路線における、競争力のある魅力的な素材を活用した観光プロモーションを展開していく。また、現地キーパーソンや観光関係者を活用した取組みを官民一体となって一層強化していくことが重要である。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	我が国における人口減少が見込まれる中、アジアでは急激な経済発展とともに急速な国際交流が進展しつつあり、こうした時代の大きな流れに連動した効果的なプロモーションを実施していく必要がある。費用対効果を高めるため、国・県・周辺自治体と連携したプロモーション展開を目指し、現地キーパーソンを活用した効果的な取組みを官民一体となって実施していく。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0107010403030403	事務 事業名	外国人観光客誘致促進事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費	3,411	620	620
9	旅費	213	556	556
10	交際費			
11	需用費	497	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費	497	0	0
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料	608	2,197	2,197
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	500	1,608	1,608
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
	計	5,229	4,981	4,981
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,229	4,981	4,981
	計	5,229	4,981	4,981
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	5,235
補正予算	0
流用・充用	5
予算合計	5,240

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
	合計	0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報													
事務事業コード	01070104040201	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業				担当部	商工観光部					
						担当課	観光課						
政策名	04	育み磨きあうまちづくり				グループ	観光PRG						
施策名	04	文化の振興				電話番号	45-5111						
基本事業名	02	文化関係団体の育成				内線番号	2611						
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)						
	款	07 商工費					根拠法令・条例等						
	項	01 商工費											
	目	04 観光費											
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画								
2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>													
(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)													
<p>国分広瀬地区の潮遊池で毎年、8月16日に小村新田魚捕り組合が飼馬桶を半分に切って作った筏に乗り、「エッナ」と呼ばれるボラの子を投げ網で捕り、その場でさばいたエッナを酢味噌などで食するという精進落としての伝統行事に対し、行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供などを行う。</p>													
① 活動指標 (事務事業の活動量)					単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)			
ア	仮設トイレ数				基	1	1	1	1	1			
イ	給水車数				台	1	1	1	1	1			
ウ													
(2) 事務事業の目的													
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)			③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)			単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)		
ア	広瀬地区の住民		広瀬地域の住民			人	5,949	6,066	6,071	6,027	6,027		
イ													
ウ													
④ 意図 (②対象をどうしたいのか)			⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)			単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)		
ア	ハンギリだしを見てもらう		ハンギリだしを見学した人の数			人	250	350	350	300	300		
イ													
ウ													
(3) 上位の基本事業													
⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)			⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)			単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)		
ア	郷土芸能を継承し、広める。		郷土芸能保存会の団体数			団体	32	34	36	40	40		
イ	郷土芸能を継承し、広める。		郷土芸能保存会に所属している人の数			人	2,398	2,582	2,708	2,550	2,550		
ウ													
3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)				4. 事業費の推移									
<p>地域の伝統行事であるハンギリだしに参加される方々の利便性を図るため、平成15年から開始した。伝統的な行事であり存続を含め支援が必要である。</p>				投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
						県支出金	千円	0	0	0	0	0	
						地方債	千円	0	0	0	0	0	
						その他	千円	0	0	0	0	0	
						一般財源	千円	24	24	24	0	0	
						事業費	千円	24	24	24	0	0	
5. 平成26年度の実績及び成果													
(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>					(2) 平成26年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>								
<p>行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供を行った。</p>					<p>地元の魚取り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、類似事業との連携を図る事により効果的な周知と事務局体制の向上が見込まれる。</p>								

事務事業コード	0107010404040201	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	国分広瀬地区の伝統行事である「ハンギリだし」を支援することは、伝統文化を継承し、広げることに繋がり結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化(特に郷土芸能や年中行事)の活用は、地域の活性化、地域づくり、コミュニケーションづくりの役割として位置付けができるため、市は地域と保存団体との連携を図る必要があり妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	市観光協会支援事業との連携により、効果的な開催告知や支援体制の充実が図られる。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	トイレ等の設置費用のため、事業を廃止した場合、衛生面に支障が出る。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 市観光協会支援事業 事務処理及び意図が類似する事業があるため、補助金交付について、霧島市観光協会が事務局を担っている他の事業同様、観光協会支援事業としての補助金交付が可能である。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することで市の負担を削減出来る。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することが出来る。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統行事であり、受益負担はなじまない。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・連携・統合 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○				○	○	
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	市観光協会支援事業と連携・統合する事により、事務事業の軽減と共に効果的な支援体制の充実が図れないか検討する。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	市観光協会支援事業と連携・統合する事により、事務処理の軽減と効果的な支援体制の充実を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1)事務事業の改革改善方向性	継続 やり方改善 コスト拡充 コスト縮小 連携 統合 休止 廃止
(2)総評	

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010404040202	事務事業名	ほぜ祭り開催支援事業	担当部	商工観光部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	観光課		
施策名	04	文化の振興		グループ	観光PRグループ		
基本事業名	02	文化関係団体の育成		電話番号	45-5111		
				内線番号	2611		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ー 不明 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

ほぜ祭り奉賛会に補助金を交付し、ほぜ祭り奉賛会が行うほぜ祭りを支援している。
 (市の活動)ほぜ祭り奉賛会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。
 (ほぜ祭り奉賛会とは)例年11月に霧島神宮で行われる『ほぜ祭り』開催にあたり、計画・実施などを行う団体。
 構成員:会長 霧島市長、副会長 霧島総合支所長・霧島市観光協会会長・霧島市商工会長 他委員17名・監事2名。
 (ほぜ祭り奉賛会の活動) 11月23日に霧島神宮で五穀豊穣祈願と豊年を祝い奉納を行う行事として『ほぜ祭り』を行う。
 【ほぜ祭りの概要】豊年を祝い、神様への感謝のため奉納行事が行われる。地元スポーツ少年団による「子供みこし」を皮切りに、女性団体の踊り連、霧島中学校吹奏楽部の演奏、狭名田、杵田地区による棒踊り、霧島新ハンヤ節、俵踊り、ひよっこ踊りが奉納される。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア ほぜ祭延べ参加者数	人	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	人口	人	127,475	128,156	126,773	126,597	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 地域芸能に触れることができる。	参加団体の参加者数	人	600	640	640	660	660
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 郷土芸能を継承し、広める。	郷土芸能保存会の団体数	団体	32	34	36	40	40
イ 郷土芸能を継承し、広める。	郷土芸能保存会に所属している人の数	人	2,398	2,582	2,708	2,550	2,550
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

霧島神宮があることより、五穀豊穣のお祭りを昔より実施している。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	487	468	421	0	0
	事業費	千円	487	468	421	0	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
11月23日に霧島神宮で行われる『ほぜ祭り』開催にあたり、計画・実施などを行った。	11月23日に行われた『ほぜ祭り』では、郷土芸能の披露の他に、特産品の販売や相撲大会・ゲートボール大会など、地域の活性化につながるイベントも実施しているため、教育委員会ではなく、観光課から支援を行っている。

事務事業コード	0107010404040202	事務事業名	ほぜ祭り開催支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	ほぜ祭りを開催することで、霧島市民に対して地域芸能に触れる機会を提供することは、伝統芸能を継承し広めてもらうことに結びついている。 さらに、ほぜ祭りを開催することで、地域の活性化や霧島市を訪れる観光客の増加にもつながっている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めさせる必要があるので妥当である。
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	地域住民による伝統行事のため、参加団体についても公募等を行わず、地元団体のみで実施しているため、これ以上参加団体を増やすことは出来ない。
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	ほぜ祭りを廃止すれば、市民が伝統文化に触れる機会が少なくなり、伝統文化を継承し、広めていくことができなくなる。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 市観光協会活動支援事業 事務処理及び意図が類似する事業があるため、補助金交付について、霧島市観光協会が事務局を担っている他の事業同様、観光協会支援事業としての補助金交付が可能である。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することで市の負担を削減出来る。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	類似のイベントの補助金を統合することで、補助金申請事務手続き等の事務を削減することが出来る。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島神宮境内で行うため、入場料などは徴収せず、地元の住民から立ち寄りの観光客まで広く楽しんでいただいている。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・連携・統合 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○					○		
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	平成27年度より市観光協会活動支援事業の霧島市観光協会への補助金の一部として組み込むこととした。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	01070104040204	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部		
政策名	04	育み磨きあうまちづくり		担当課	観光課		
施策名	04	文化の振興		グループ	観光PRG		
基本事業名	02	文化関係団体の育成		電話番号	45-5111		
				内線番号	2612		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 39 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

隼人町民芸保存会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動)
 隼人町民芸保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。
 (隼人町民芸保存会の活動)
 13(御田植祭、田の神舞、トド組、太鼓踊り、棒踊り、隼人浜下り、郷土玩具、鈴かけ馬踊り、かぎ引き、琉球人踊り、米作り踊り、魚とり踊り、隼人弓)の郷土芸能の保存・継承活動及び伝統工芸、郷土玩具の保存・継承活動

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 補助した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 隼人町民芸保存会	団体数	団体	13	13	13	13	13
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 郷土芸能の保存・継承活動に取り組んでもらう。	保存・継承活動を行った民芸保存会の郷土芸能等の数	団体	13	13	13	13	13
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 伝統文化を継承し、広めてもらう。	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)	人	2,398	2,634	2,708	2,550	2,550
イ 伝統文化を継承し、広めてもらう。	発表を行っている団体数	団体	32	34	36	40	40
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和39年に隼人町固有の伝統的な郷土民芸、郷土玩具等を文化財あるいは観光資源として、未永く保存して伝えていくために、隼人町民芸保存会が発足している。後継者不足、活動資金不足が深刻である。自主財源の確保が難しい中で、平成24年度並みの補助金が確保できなければ、民芸保存会の存続が困難になり、保存すべき民芸が消滅する恐れがある。初午祭、隼人浜下り等市の一大イベントであり積極的に支援する必要がある

4. 事業費の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	3,031	3,031	2,800	0	0
		事業費	千円	3,031	3,031	2,800	0	0

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
他の類似事業の事務局である文化振興課と協議をおこない、理事会にて今後の事務局体制を含め伝統芸能・工芸の保存、継承の為の方策について検討をおこなった。	民芸保存会のあり方を整理し、伝統芸能に関しては市全体の伝統芸能保存団体である(仮称)霧島市伝統芸能保存会の設立に向け協議が整った。また、民芸保存会に属していた祭り等については、既存の観光協会の他の祭り等の補助金と一括して交付することで事務の効率化を進める協議が整った。

事務事業コード	0107010404040204	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	隼人町民芸保存会への支援であり、郷土芸能の保存・継承活動に取り組んでもらう。伝統文化を継承し、広めてもらう。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化(特に郷土芸能や年中行事)の活用は、地域の活性化、地域づくり、コミュニケーションづくりの役割として位置付けができるため、市は地、域と保存団体との連携を図る必要があり妥当である。	
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	郷土芸能等の数であるため、向上の余地はない。	
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	自主財源のみでは保存・継承ができなくなり、伝統文化が消滅する恐れがある。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	他の民俗芸能伝承団体に対する運営補助
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	他の民俗芸能団体に対する運営補助は教育委員会の事務であり、整理・統合する必要がある。	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	自主財源が少なく、これ以上の削減は保存・継承に支障をきたす。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	補助金交付事務のみであり、削減余地はない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能・工芸は市の財産であり、これらを保存・継承していくことで、市民が伝統文化に触れる機会が増え、またそれらを大切にすることを育むことに繋がる。これらの理由から、行政の支援は必要であり公平公正である。ただし文化事業として他の地域と公平性を保つため教育委員会との協議が必要である。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 < 継続・やり方改善・連携・統合 >								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○					○		
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	伝統芸能に関しては民芸保存会を市全体に拡充した形での伝統芸能保存団体である(仮称)霧島市伝統芸能保存会の設立(主管課:文化振興課)に向け、民芸保存会の各団体に対し連絡調整をおこなう。また、民芸保存会に属していた祭り等については、既存の観光協会の他の祭り・イベント等の補助金と一括して交付し事務の効率化を進める。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	民芸保存会を市全体に拡充する形で(仮称)霧島市伝統芸能保存会を設立するため、隼人民芸保存会運営支援事業の事務事業評価は不要となる。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	010701040040204	事務 事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	2,800	0	
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		2,800	0	0
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	2,800	0		
計		2,800	0	0
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	2,800
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	2,800

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010505020202	事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理運営事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	05	たすけあい支えあいまちづくり		グループ	観光地づくりG		
施策名	02	こころと身体の健康づくりの推進		電話番号	64-0895		
基本事業名	02	こころと身体の健康管理の実践・支援		内線番号	2614		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 14 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	霧島市浜之市ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例	
	項	01 商工費					
	目	05 施設管理費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

「浜之市ふれあいセンター」の維持管理に関する事業。施設内には温泉施設「富の湯」、地域特産品の展示・販売コーナーの展示棟や調理実習室・研修室がある。また屋外には足湯もある。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 開館日数	日	312	310	310	312	312
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	市民人口(4月1日現在)	人	127,454	127,537	127,529	128,000	128,000
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 当施設を利用してもらう。	富の湯利用者数	人	41,966	41,619	36,562	37,300	38,000
イ	展示棟使用者数	人		51	52		
ウ	研修室等使用者数	人			1,567		

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア こころと身体の疾病予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	健診を受診した市民の割合	%	45.7	52.2	49.8	55.0	57.0
イ	こころの持ち方に気をつけている市民の割合	%	42.2	43.8	43.9	46.0	47.0
ウ	予防接種率	%	73.7	70.0	68.7	73.0	74.0

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成14年にオープン。平成25年度まではシルバー人材センターの指定管理。平成26年度からは観光課による直営で管理を行っている。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			12,000	11,927	0
	一般財源	千円			2,121	2,586	14,513
投入量	事業費	千円	0	0	14,121	14,513	14,513

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
富の湯利用者数 36,562人 展示棟使用者数 52人 研修室等使用者数 1,567人	平成26年度より市の直営による管理を行ったが、利用者に混乱がないよう例年通りの施設管理、お客様への対応を行った。 足湯温泉管、給油管、温泉ポンプ、サウナ・浴槽及び外灯照明の修繕、多目的トイレ鍵取替え、ボイラ定期調整を行った。

事務事業コード	0107010505020202	事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市民に当施設を利用してもらうことで、こころと身体の疾病予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民のこころと身体の健康管理の支援は、市の責務であり、当施設は市の施設であるので妥当である。受け入れ体制を整えることで、利用者の増加につながる。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設は、現状においても定期的に点検、整備、清掃されているが、維持管理等は常に迅速な対応なども追及すべきであり、向上の余地があるといえる。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	利用客が安心して施設を利用できるように、徹底した維持管理をすることは重要であり、維持管理の行き届かない施設があることは霧島市のイメージダウンに繋がるため廃止・休止の影響がある。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	なし
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者による管理を行い、より効果的な施設の利用を行うことで、事業費を削減する余地がある。	
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	指定管理者による管理を行い、より効果的な施設の利用を行うことで、事業費を削減する余地がある。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	条例に定められた範囲内での利用料金であり、対象者も制限しておらず、公平・公正である。	

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○	○		○			
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	風呂場については快適な環境を整えるため老朽化したサウナ内の板の張替えを行う。また、地元の農産品や加工品等を陳列している特産品コーナーを充実させ、集客増を図る。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	平成28年度は公募による指定管理者制度を導入し、コスト削減と利用者の増加を目指す。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0107010505020202	事務 事業名	浜之市ふれあいセンター管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金	6,954	7,271	7,271
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	5,888	5,977	5,977
	消耗品費	419	545	545
	燃料費	857	945	945
	食糧費			
	印刷製本費	78	60	60
	光熱水費	3,974	4,427	4,427
	修繕料	560	0	
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役員費	106	153	153
	通信運搬費	73	77	77
	広告料			
	手数料	0	40	40
	保険料	33	36	36
13	委託料	1,081	1,082	1,082
14	使用料及び賃借料	23	30	30
15	工事請負費		0	
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費	69	0	
19	負担金補助及び交付金			
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		14,121	14,513	14,513
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	12,000	11,927	
一般財源	2,121	2,586	14,513	
計		14,121	14,513	14,513
補助率				
国				
県				
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	14,698
補正予算	0
流用・充用	-122
予算合計	14,576

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	浜之市ふれあいセンター使用料	12,000
合 計		12,000

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0102011707010101	事務事業名	関平鉱泉販売・管理運営事業		担当部	商工観光部
政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり			担当課	観光課
施策名	01	健全な財政運営の推進			グループ	関平鉱泉販売所
基本事業名	01	歳入の確保			電話番号	78-2950
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	02 総務費				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 58 年度～)
	項	01 総務管理費				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)
	目	17 関平温泉施設費				根拠法令・条例等
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

関平鉱泉販売所は、昭和58年に、市民及び一般来訪者の保養と福祉、併せて市民生活の向上・収入の確保を目的に設置され、鉱泉水の製造・販売を行っている。本事業では、販売所の施設管理及び鉱泉水の販売促進のため、宣伝・広報活動やクレームへの適切な対応を行うものである。
 【鉱泉水】20L(1,000円)・10L(600円)・10L2箱入(1,200円)・ペットボトル2L・500ml他
 【主な販売促進手法】
 ・関平鉱泉友の会の設立 ・ポイントカードの作成 ・経営強化会議の開催 ・宣伝活動の実施 ・クレーム対応
 【営業時間】
 ・8:30から17:00まで(4月から9月までは18:00まで営業)
 ・定休日は、毎月第1と第3火曜日、年末年始の休業日有

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 宣伝活動の実施回数	回	15	15	15	15	15
イ 経営強化会議の開催回数	回	3	4	6	4	10
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民、顧客	人口	人	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 関平鉱泉を適正な価格で購入できる。	関平鉱泉の売上高	千円	335,195	329,752	288,324	400,000	400,000
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 受益に見合った使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をせらう	決算統計(04表)	億円	19	19	14	19	19
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

昭和58年、市民及び一般来訪者の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として設置された関平鉱泉販売所の効率的な運営と販売促進を実施することを目的に開始された。市長より、財源確保として販売促進の要望がある。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	349,815	371,191	349,302	1,045,376	749,528
	一般財源	千円	0	0	0	0	0
事業費		千円	349,815	371,191	349,302	1,045,376	749,528
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
20L(1,000円):200,725箱 200,725,000円 10L(600円):76,171箱 45,702,600円 ペットボトル2L:103,226本 23,741,980円 500ml他:203,553本 22,390,830円 その他 38,253,712円 計 330,814,122円	適正な施設管理と関平鉱泉水の知名度アップのためのPR活動、市内宅配事業を実施し売上の増加、迅速かつ確実なクレーム対応を行った結果、市民(顧客)に対して安定した鉱泉水の供給が出来た。 工場の老朽化にともない、関平鉱泉所工場・事務所棟の新築に着手したことで安定した鉱泉水の供給が出来る目処がたった。 平成26年度の利益:71,267,347円(①-②) 売上:330,814,122円…① 費用:259,546,775円…②

事務事業コード	0102011707010101	事務事業名	関平鉱泉水販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	適正な管理のもと、安心安全な関平鉱泉水を市民(顧客)が適正な価格で購入し愛飲してもらう事は、受益にあった使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらうことに繋がりが結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、収入の確保(負担金、補助事業の導入、自主財源の確保)を行う必要があるため、妥当である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	宣伝・広告を積極的に行うことにより、売り上げの向上余地がある。若年層(20代から30代)の新規顧客を獲得し、経営の安定化を図る必要がある。 また、老朽化した販売施設を建て替え、利用者の利便を図れば、成果の向上余地がある
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	販売促進に関する事業を怠れば、鉱泉水の売上げが下がり、市の貴重な財源が不足する。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	関平鉱泉水の知名度が上がり、販売額が湧水量を上回るようになれば、宣伝への費用は削減できる。また、クレームに対しても製造での品質管理を強化するとともに、利用者への使用方法の周知を実施することにより、件数を減らし、結果的に事業費を削減できる。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	本事業は、最低限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数が対象となり、安心安全な関平鉱泉水を提供することにより、市民(顧客)からも販売代金を徴収しているので、公平性は保てる。

7. 1次評価結果 <PLAN>(組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性< 継続・やり方改善 >						
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○	○		○				
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	・広告費の執行に関しては、媒体、金額を精査し、限られた予算で最大限の効果的PRを図る。 ・インターネットでのPR、販売、決済システムを構築し、新規顧客の獲得を目指す。 ・引き続き、大口取引店への出荷拡大に努める。 ・工場・事務所棟の建築年度であり、定期的な工程会議を実施し、事故のない安全な施工を目指す。 ・工場竣工にあたっては、事前に徹底した鉱泉水製造試験を実施し、安心安全な鉱泉水を提供できるようにする。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標	・関平鉱泉水所整備の完了年度であり、霧島の観光拠点として誘客を図るため、事前のPR活動を実施する。 ・特産品売場の建築に着手するので、定期的な工程会議を実施し、事故のない安全な施工を目指す。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0102011707010101	事務 事業名	関平鉱泉販売・管理運営事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			0
3	職員手当等			
4	共済費	4,529	4,558	4,558
5	災害補償費			
7	賃金	52,109	54,666	54,666
8	報償費			
9	旅費	314	341	400
10	交際費			
11	需用費	112,436	140,692	163,197
	消耗品費	90,589	119,200	120,000
	燃料費	7,485	7,512	7,512
	食糧費			
	印刷製本費	671	685	685
	光熱水費	8,990	10,395	30,000
	修繕料	4,701	2,900	5,000
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	54,518	59,272	62,500
	通信運搬費	42,908	49,497	50,000
	広告料	9,757	7,827	10,000
	手数料	1,442	1,530	2,000
	保険料	411	418	500
13	委託料	41,946	34,145	10,000
14	使用料及び賃借料	10,234	24,778	69,870
15	工事請負費	7,958	720,199	380,000
16	原材料費	297	300	300
17	公有財産購入費			
18	備品購入費		3,860	4,000
19	負担金補助及び交付金	1	2	2
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利子及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金	64,935	2,528	
26	寄附金			
27	公課費	25	35	35
28	繰出金			
計		349,302	1,045,376	749,528
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	349,302	1,045,376	749,528
一般財源		0		
計		349,302	1,045,376	749,528
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	474,855
補正予算	-133,711
補正第5号	-174,990
補正第7号	41,279
流用・充用	-166
予算合計	340,978

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
その他	雑入(関平鉱泉水販売送料)	35,752
その他	基金利子(関平鉱泉施設整備基金利子)	1,451
その他	雑入(関平温泉入浴用品売上収入)	278
その他	雑入(関平温泉自動販売機設置料)	79
その他	関平温泉使用料	272,134
その他	行政財産使用料	68
その他	関平鉱泉施設整備基金繰入金	7,958
その他	繰越金	31,582
合計		349,302

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0107010499999901	事務事業名	観光関係各種協議会等参画事業	担当部	商工観光部		
				担当課	観光課		
政策名	03	活力ある産業のまちづくり		グループ	観光PR		
施策名	03	観光業の振興		電話番号	45-5111		
基本事業名	01	観光客誘致宣伝活動の展開		内線番号	2613		
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	07 商工費			根拠法令・条例等		
	項	01 商工費					
	目	04 観光費					
評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価	関連計画			

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 観光関係各種協議会への負担金。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	各種協議会数	団体	21	21	20	20	20
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 観光客							
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を知ってもらおう。							
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア 霧島市を訪れてもらう。							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 特になし。

4. 事業費の推移

		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円			0	0	0
	県支出金	千円			0	0	0
	地方債	千円			0	0	0
	その他	千円			0	0	0
	一般財源	千円			14,160	14,160	0
	事業費	千円	0	0	14,160	14,160	0
投入量							

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
各種協議会へ参画することにより、官民一体となった取組みの充実、また広域連携による観光の推進を図りながら、観光客の誘客に努めた。	各種協議会の円滑な事業運営が図られた。

事務事業コード	010701049999901	事務事業名	観光関係各種協議会等参画事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	協議会の整理・統合による負担金の削減は可能であるが、それぞれの協議会においては十分機能を果たしているため、削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	必要最低限の人員数であり削減できない。i	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)								
【参考】前年度の改革改善の方向性 <>								
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○				○	○	
(2)平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	各協議会の活動状況や計画において、整理若しくは統合できるものはないか等を検証していきたい。							
(3)平成28年度の方向性・取組目標								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2)総評								

事務事業 コード	0107010499999901	事務 事業名	観光関係各種協議会等参画事業	担当部	商工観光部
				担当課	観光課

9. コストの推移

(単位:千円)		平成26年度 (決算)	平成27年度 (当初予算)	平成28年度 (計画)
1	報酬			
2	給料			
3	職員手当等			
4	共済費			
5	災害補償費			
7	賃金			
8	報償費			
9	旅費			
10	交際費			
11	需用費	0	0	0
	消耗品費			
	燃料費			
	食糧費			
	印刷製本費			
	光熱水費			
	修繕料			
	賄材料費			
	飼料費			
	医薬材料費			
12	役務費	0	0	0
	通信運搬費			
	広告料			
	手数料			
	保険料			
13	委託料			
14	使用料及び賃借料			
15	工事請負費			
16	原材料費			
17	公有財産購入費			
18	備品購入費			
19	負担金補助及び交付金	14,160	14,160	
20	扶助費			
21	貸付金			
22	補償補填及び賠償金			
23	償還金利息及び割引料			
24	投資及び出資金			
25	積立金			
26	寄附金			
27	公課費			
28	繰出金			
計		14,160	14,160	0
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	14,160	14,160		
計		14,160	14,160	0
補助率	国			
	県			
補助基本額				

平成26年度補正・流用状況

当初予算	14,160
補正予算	0
流用・充用	
予算合計	14,160

平成26年度特定財源内訳

区分	名称	金額
合計		0